

ケ 5
554



茨城縣 菅下

常陸國 新治郡

神立村 下人保

高野 八郎 兵衛

お蘭一人作
北峰の清美校

古く武勇歌仙

東都

全蔵書あり梓

叙

東都の武勇歌仙の紀氏が古今集に

序をたしむるは其のまじりの歌の

人々世に傳へておほくはかみぬ

ぬの哥も先はよき歌に上りて

おほくはかみぬ歌のたけなほ

みづかしの歌のたけなほ



湖を給ふも古代の名を操りて
 一々の名を記す
 一々の名を記す
 一々の名を記す
 一々の名を記す
 一々の名を記す

山崎美作

卷中總目錄

神代六歌仙

往古六歌仙

田井謹吾

○素盞鳥尊	○既戶皇子
○稻田媛	○天智天皇
○彦火火出見尊	○嵯峨天皇
○日本武尊	○義家朝臣
○弟橘媛	○安倍宗任
○武内宿禰	○崇徳院

中昔六歌仙

近世六歌仙

○源三位頼政

○山名宗全

○伊豆守仲綱

○最明寺時頼

○薩摩守忠度

○尾子伊豫守綱久

○但馬守經正

○楠正成

○源頼朝卿

○楠正行

○熊谷直實

○万里小路藤房卿

▲古代甲冑刀劍圖

▲古昔合戰年月大畧

終



甲斐國菅田宮
神器無箱
鎧之圖

社傳
記曰
神功皇后三韓を
伐るときは八時の
御鏡



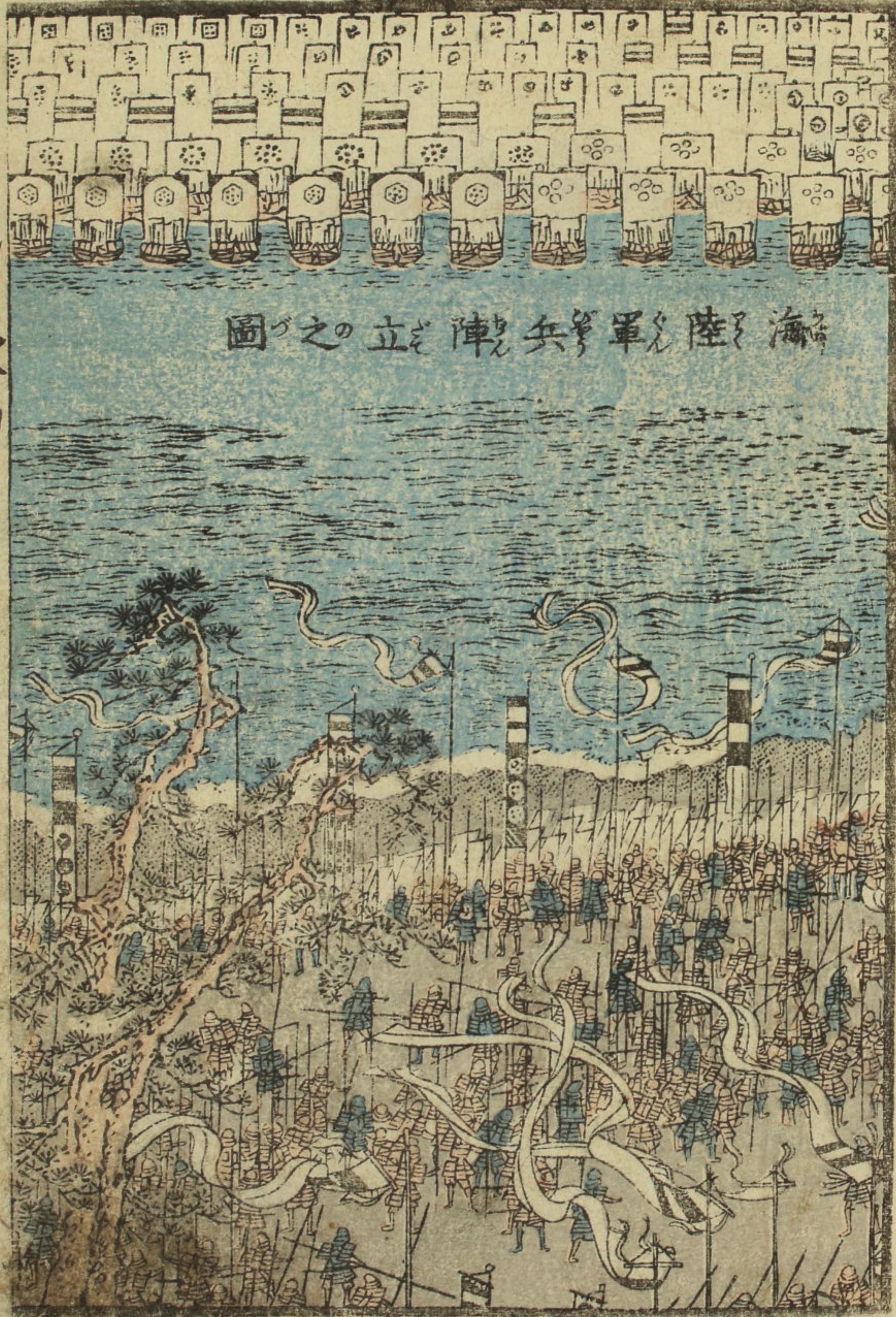
道臣命
 御武天皇御統業より
 東方へ進発の元
 この命勅命さし軍
 色と引く山踏成
 この命子の
 大船
 八咫鳥也

道臣命の
 悦んで道臣と云うひと齋主との名とある
 後八子集との名と亡天と所との軍に
 お侍て大和宮小室あり小と死築坂邑と
 小と道臣小室あり宅と化つと云む
 各月命とのみは子孫と大伴氏と号は
 道臣の率るると物部といふ故は此人の

子孫と
 物部氏と云
 後世武士と
 のふと
 のふと
 あり



むらさきめおむらさき
 ひとさし小つり
 ひとさしおみつり
 むらさきめおむらさき
 ひとさしおみつり
 むらさきめおむらさき
 ひとさしおみつり

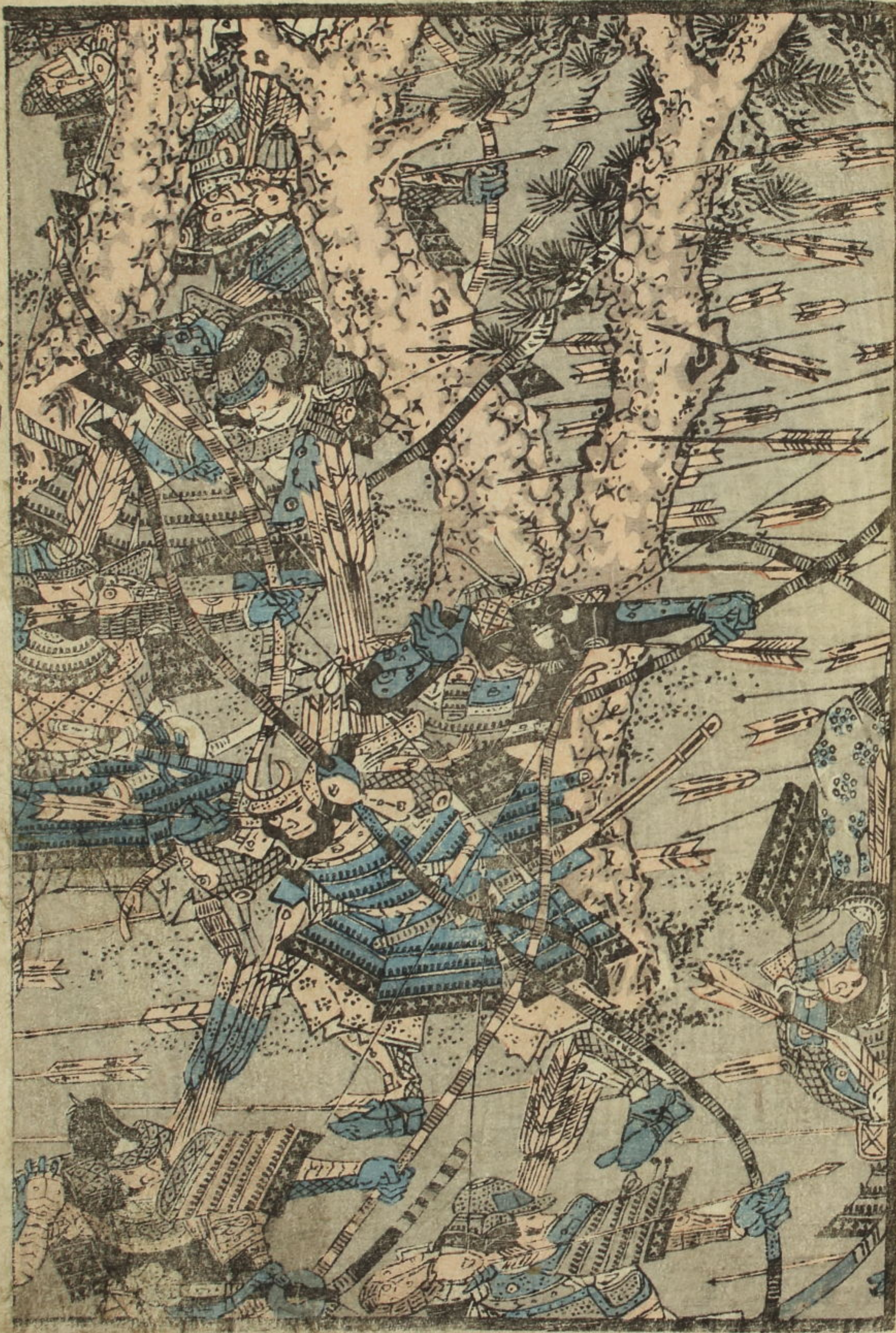




人馬を奔走する勇戦の之の圖



武勇歌山



矢合之圖

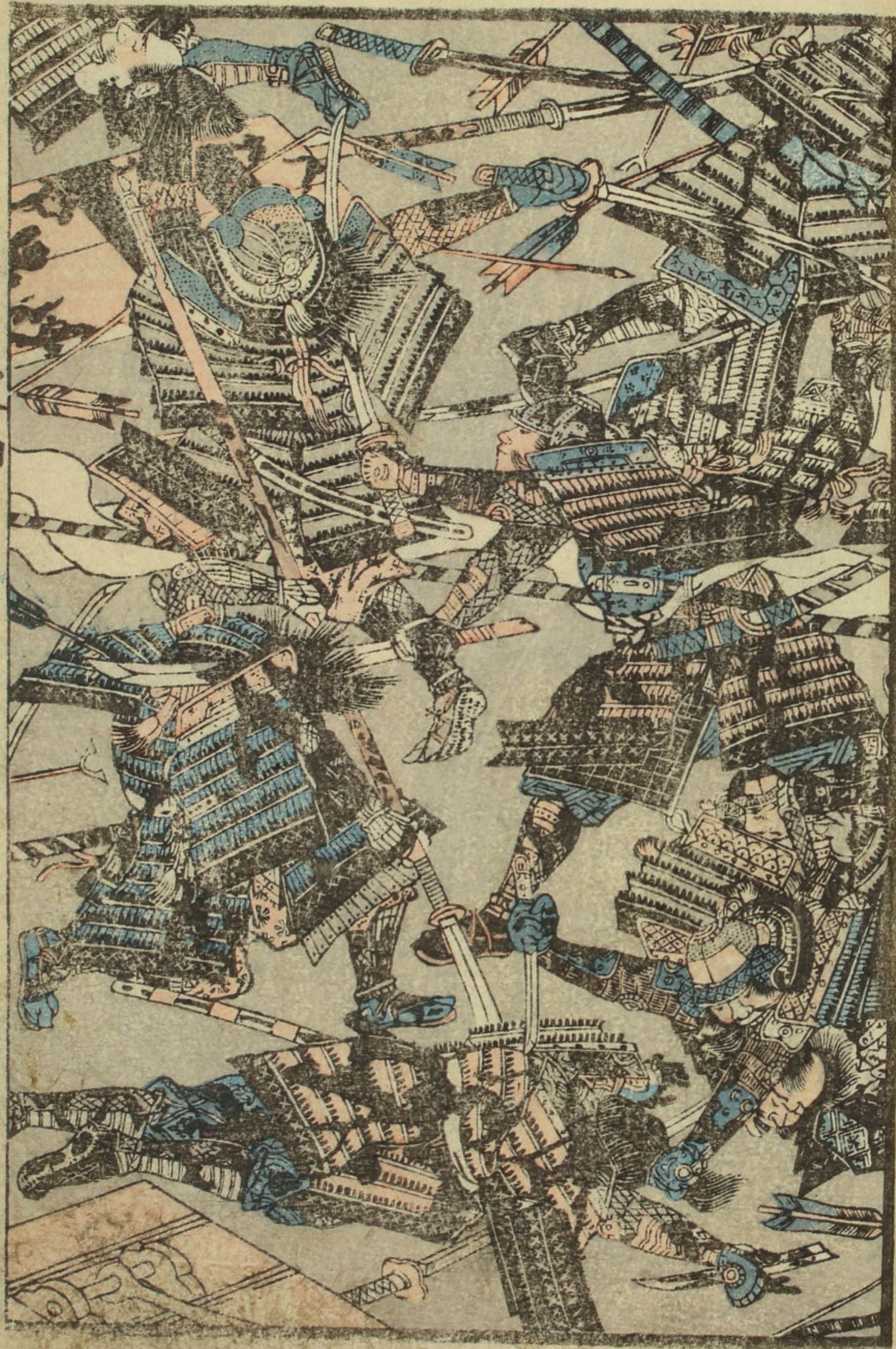
武勇吹山



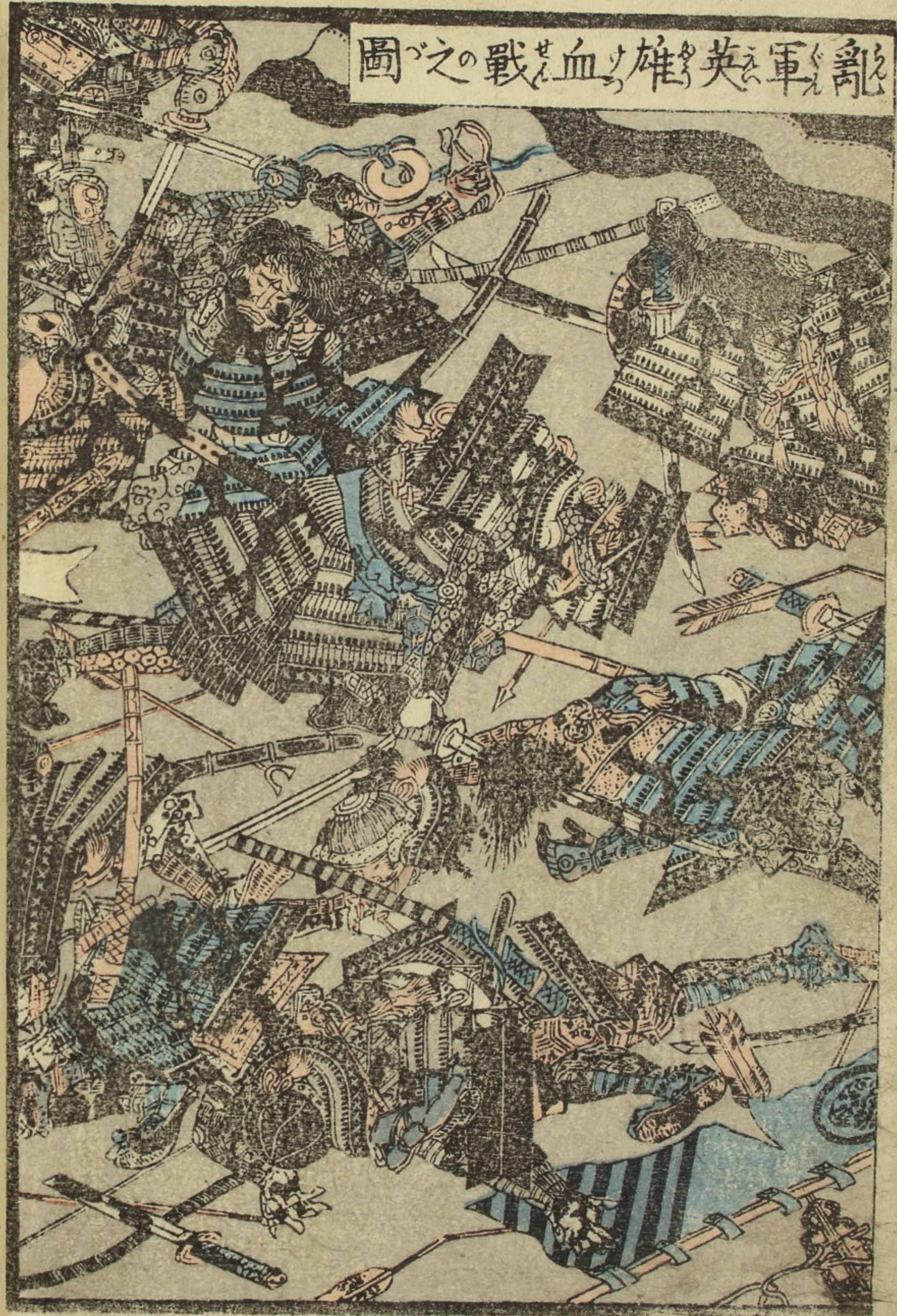
車仕
石火屋臺之圖



武勇吹山



武勇山



敵軍英雄の血を戦の之の圖

山武勇

神代六歌仙

武尊歌山



武尊歌山

素蓋烏尊



素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻... 素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻... 素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻...

素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻... 素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻... 素蓋烏尊の御事... 神代卷... 皇極經世一巻...

八雲立出雲 八重牆 妻の籠み 八重牆 けくたの 八重がたを

素蓋烏尊の御事

皇極經世

稲田の媛

まき 稲田の媛 稲田の媛 稲田の媛
以下 稲田の媛 稲田の媛 稲田の媛
こゝに 稲田の媛 稲田の媛 稲田の媛

目こ くれ ば さ ぐ
さめれ 産 早
さちよ 心の やま ぬ
けき けき けき
す ね

この 稲田の媛 稲田の媛
素蓋 鳥 稲田の媛
稲田の媛 稲田の媛



八重 恒 大 の 媛
八重 恒 大 の 媛
八重 恒 大 の 媛
八重 恒 大 の 媛

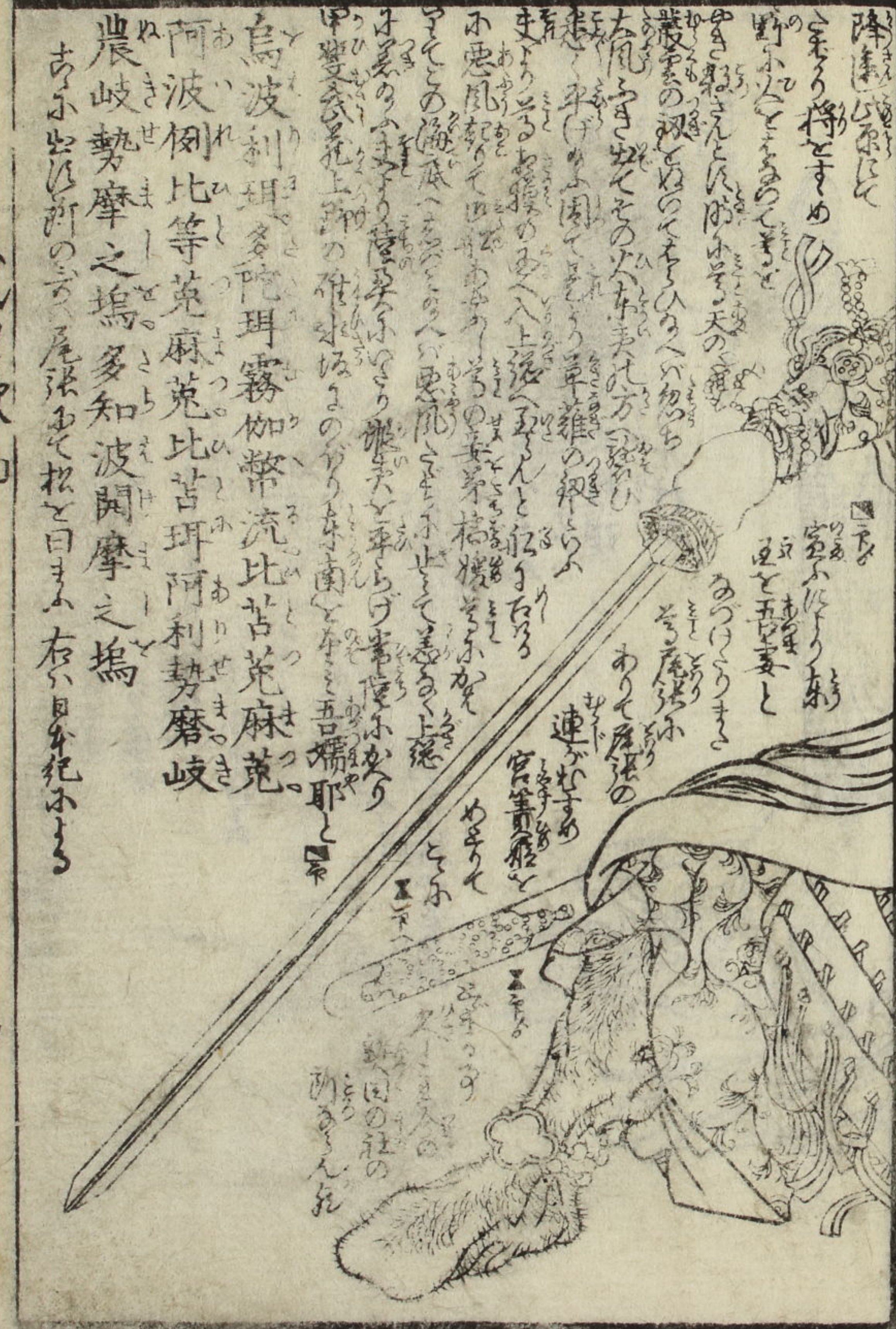
式勇故山

昭本武尊



日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊
日向の武尊

日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子



日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子
日向の武尊の御子

新橋の娘

此の娘は、
 今上総王に社、
 武花玉、
 吾妻権現の社あり



今上総王に社、
 武花玉、
 吾妻権現の社あり



さね
 けいむれ
 ほあふまらへ
 武花玉

武内宿禰

武内宿禰の伝説は古く神代卷に
 記され、武内宿禰は仲哀天皇の
 孫と云ふ。武内宿禰の傳説は
 古く神代卷に記され、武内宿
 禰は仲哀天皇の孫と云ふ。武
 内宿禰の傳説は古く神代卷に
 記され、武内宿禰は仲哀天皇
 の孫と云ふ。武内宿禰の傳説
 は古く神代卷に記され、武内
 宿禰は仲哀天皇の孫と云ふ。
 武内宿禰の傳説は古く神代
 卷に記され、武内宿禰は仲
 哀天皇の孫と云ふ。武内宿
 禰の傳説は古く神代卷に記
 され、武内宿禰は仲哀天皇
 の孫と云ふ。武内宿禰の傳
 説は古く神代卷に記され、
 武内宿禰は仲哀天皇の孫と
 云ふ。武内宿禰の傳説は古
 く神代卷に記され、武内宿
 禰は仲哀天皇の孫と云ふ。

武内宿禰の傳説は古く神代
 卷に記され、武内宿禰は仲
 哀天皇の孫と云ふ。武内宿
 禰の傳説は古く神代卷に記
 され、武内宿禰は仲哀天皇
 の孫と云ふ。武内宿禰の傳
 説は古く神代卷に記され、
 武内宿禰は仲哀天皇の孫と
 云ふ。武内宿禰の傳説は古
 く神代卷に記され、武内宿
 禰は仲哀天皇の孫と云ふ。

人皇十三代 景行天皇
 十二代 成務天皇
 十一代 仲哀天皇
 十五代 神功皇后
 十六代 應神天皇
 十七代 仁德天皇
 右六代 二百五十年
 仁德天皇七十年
 十月 辛酉年
 武内宿禰



武内宿禰

武内宿禰の傳説は古く神代卷に記され、武内宿禰は仲哀天皇の孫と云ふ。

阿布瀨能瀨勢田乃

和多利耳今豆久

吉利多那加彌

須疑臣于泥

耳等羅倍

武内宿禰の子なり

左之西圖ハ桑名聖君集古十種ヲ引テ畫 身長一尺八寸四分 莖四寸九分

身長一尺三寸七分 莖四寸二分

出雲國 身長九寸七分 莖二寸九分

藏 大社 身長一尺七寸 上野國高寄豐岡村堀得古刀 五寸許

古劔之 身長二尺四五厘 筑紫彦山堀得古刀

厚一寸 身長四尺余 丹波國大山堀得古刀

肥前國七郎宮藏古刀 身長二尺一寸六分

伊勢國安濃縣主真桑技命藏 身長一尺一寸九分 柄長九尺 向鎗寶劔

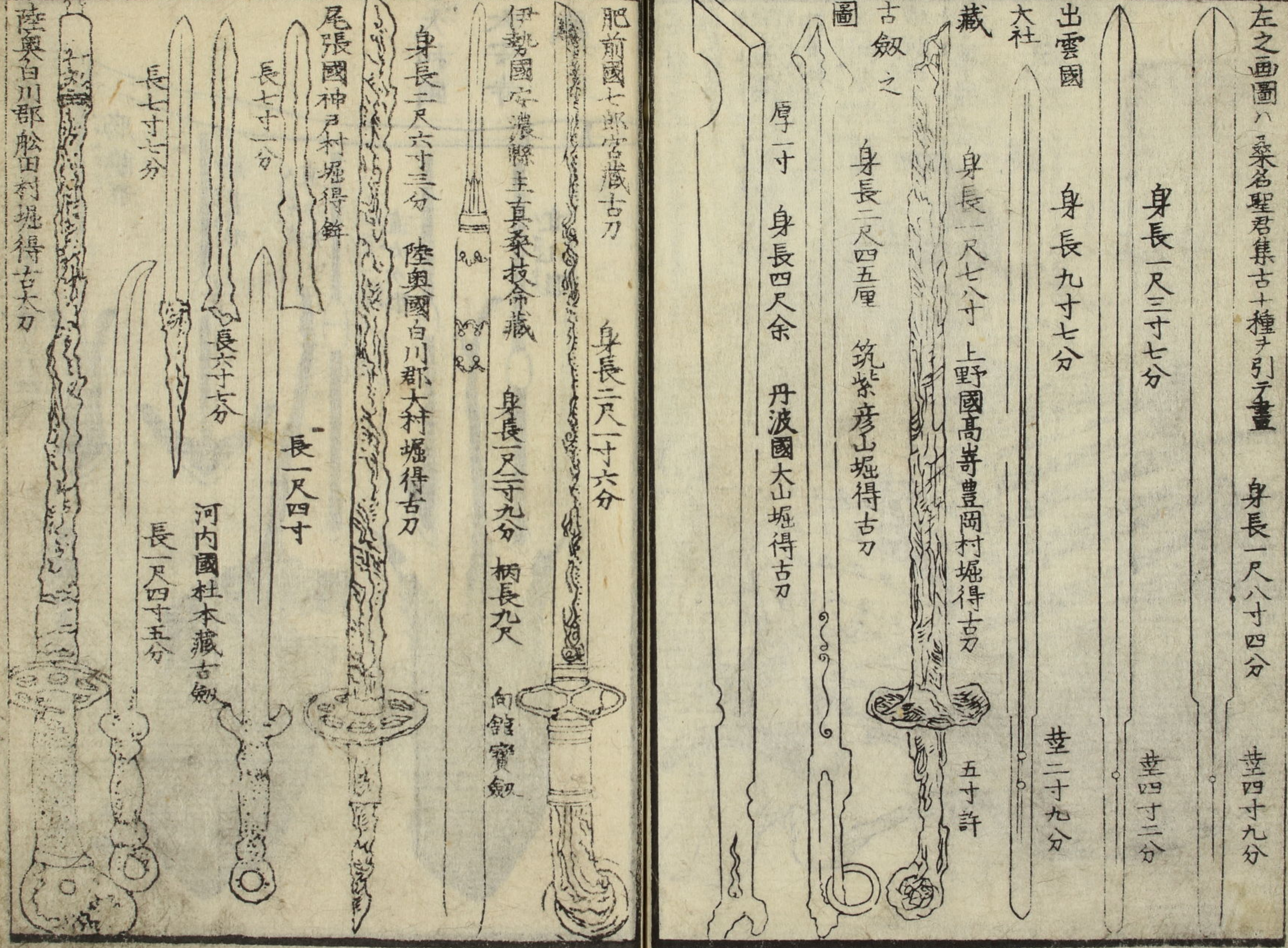
身長二尺六寸三分 陸奥國白川郡大村堀得古刀

尾張國神戶村堀得鉞 長一尺四寸

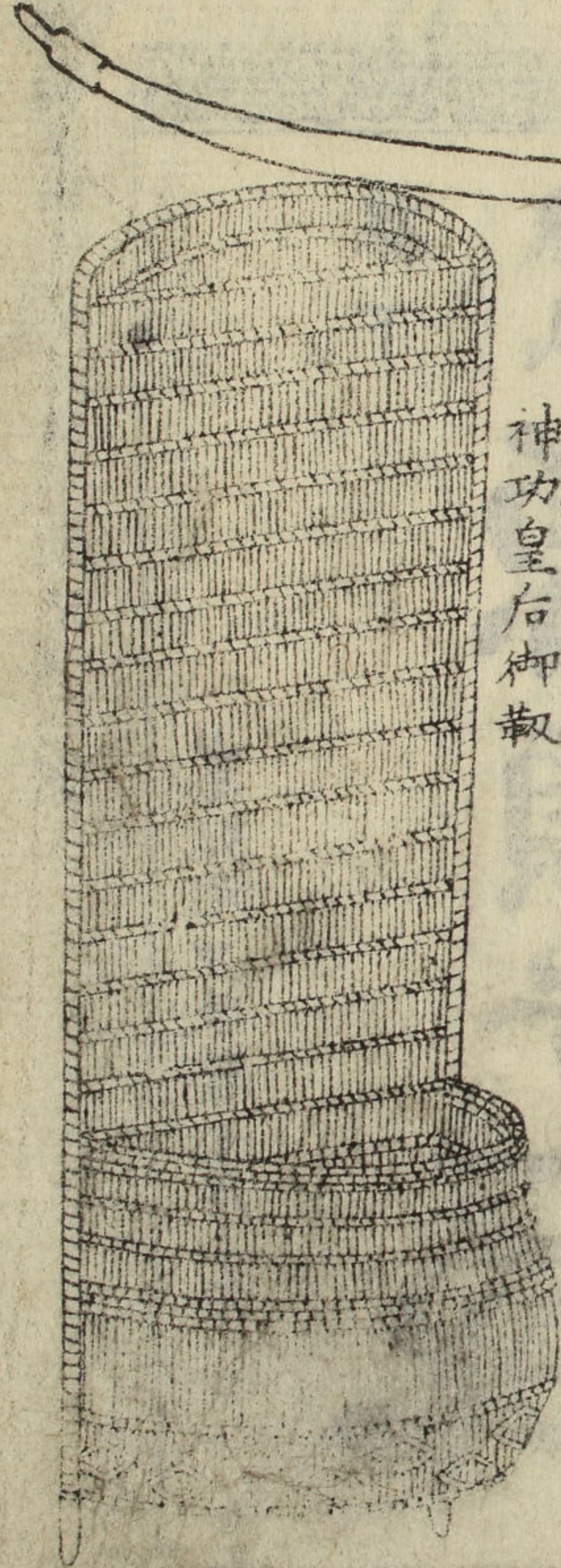
長七寸一分 長六寸七分 河内國杜本藏古劔

長七寸七分 長一尺四寸五分

陸奥白川郡船田村堀得古太刀



神功皇
后
御
弓



大和國大安寺藏
神功皇后御鞆

大坂商家藏古鍔



鑿頭形

大和國
大安寺
藏

和州大安寺八幡宮藏神功皇后御矢

鴈形



武藏國多摩郡百草村壠地得
古鍔

飛鷹形



直先形



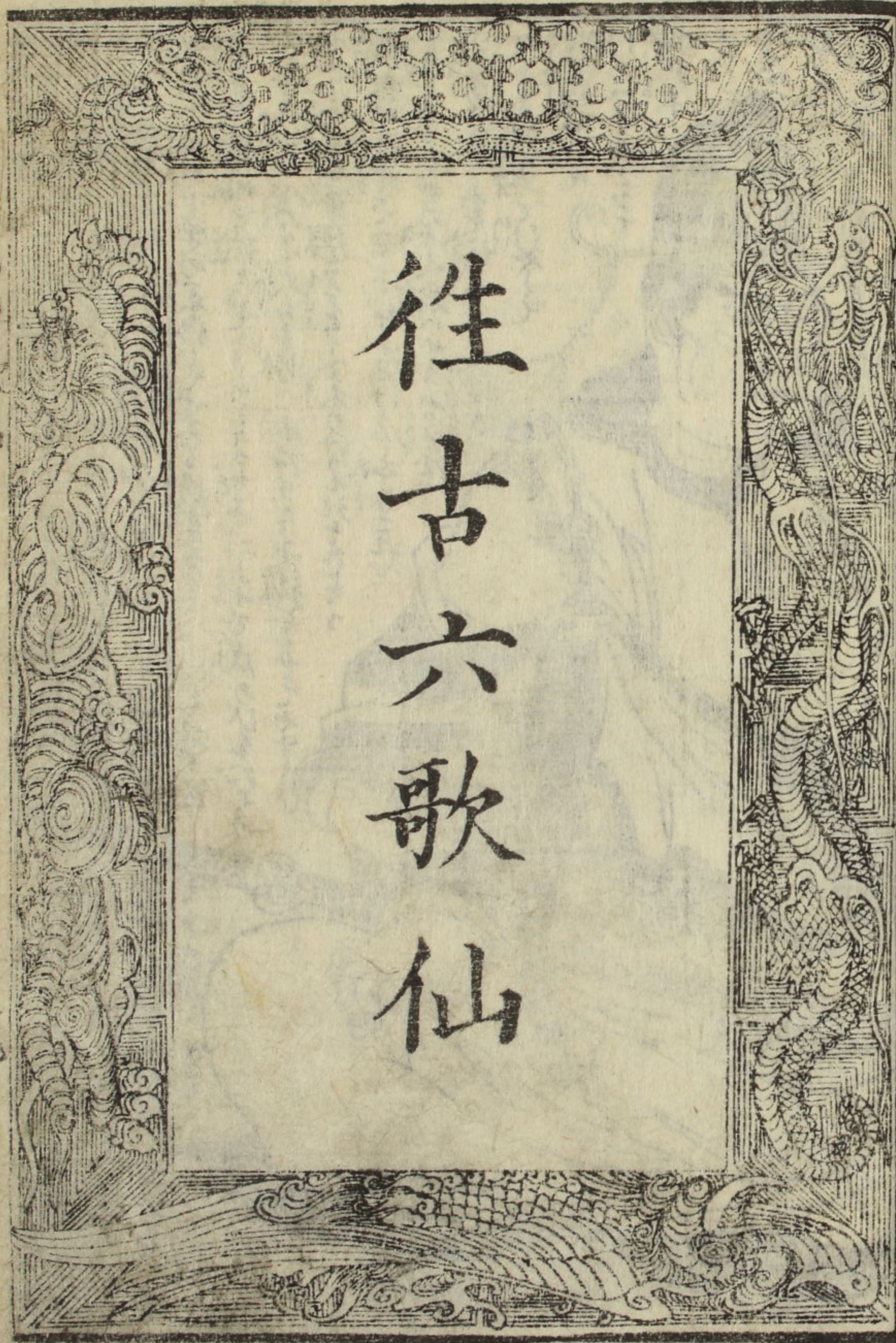
直ガケ形



直丸形



往古六歌仙

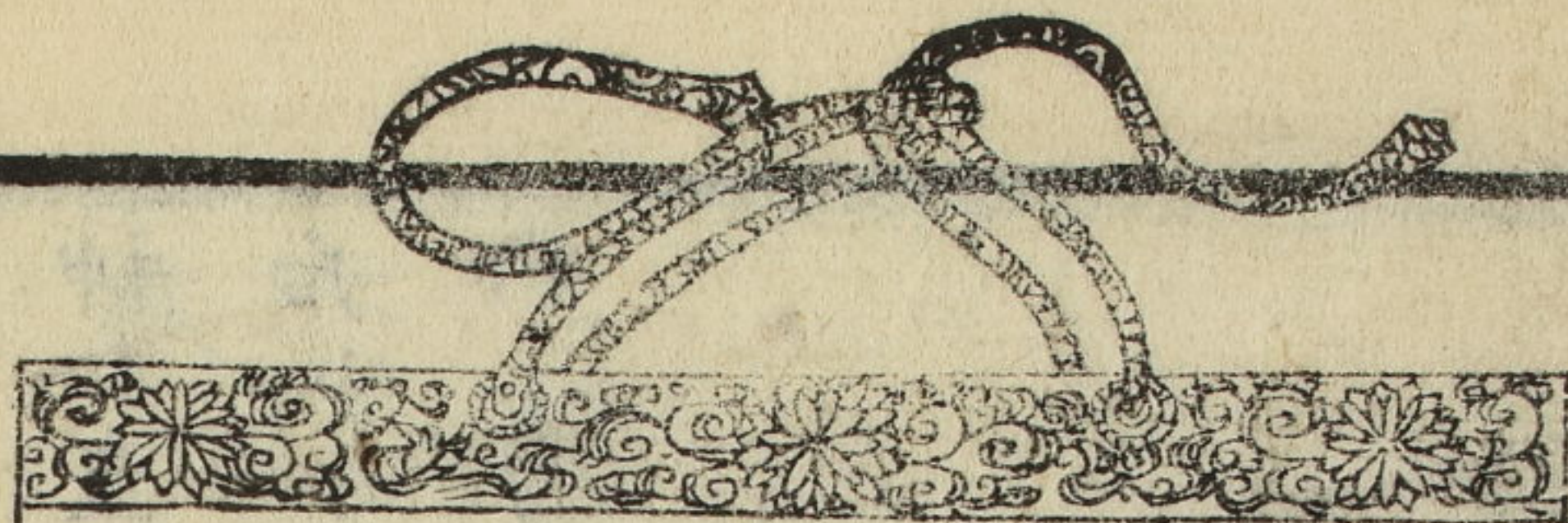


攝津國多田院藏源賴光朝臣旗之圖

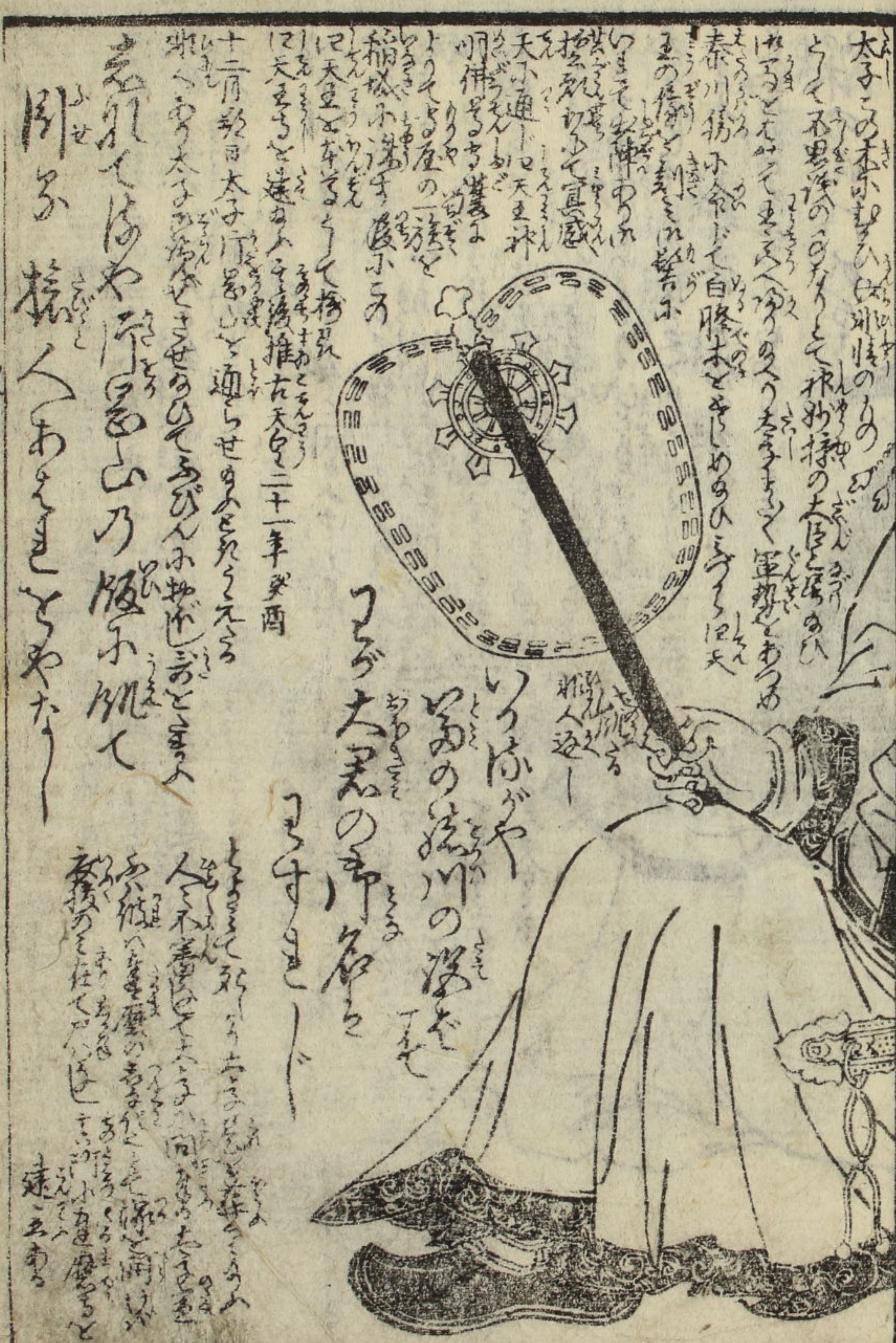
旗 下
凜 嵐
散 花

源賴光

寬弘元甲辰曆九月上旬



聖徳太子



太子の御名は...
 天智天皇二十一年癸酉...
 聖徳太子の御名は...
 天智天皇二十一年癸酉...
 聖徳太子の御名は...
 天智天皇二十一年癸酉...

武尊歌山

嵯峨天皇



嵯峨天皇の御代に於て
九十年を治すに
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に

嵯峨天皇の御代に於て
九十年を治すに
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に



御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に

御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に

武吉吹山

武吉吹山

天皇の御代に於て
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に
御代は天皇の御代に

崇徳院



伊予赤松の宮に在りて

大馬の腹と後ちまげ

崇徳院の御宇に於て... 元年二月... 四月... 七月... 十二月... 崇徳院の御宇に於て... 元年二月... 四月... 七月... 十二月...



崇徳院の御宇に於て... 崇徳院の御宇に於て...

崇徳院の御宇に於て... 崇徳院の御宇に於て... 崇徳院の御宇に於て...

崇徳院の御宇に於て... 崇徳院の御宇に於て...

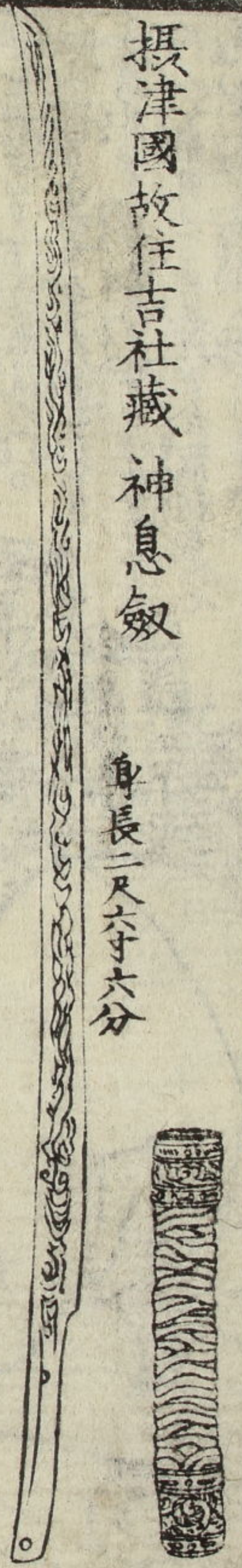
南都法隆寺藏七曜御劍

身長一尺五寸



攝津國故住吉社藏神息劍

身長二尺六寸六分



讚岐國高松海中引出 身長一尺六寸



相摸國箱根權現藏嵯峨天皇御劍

身長二尺七寸一分

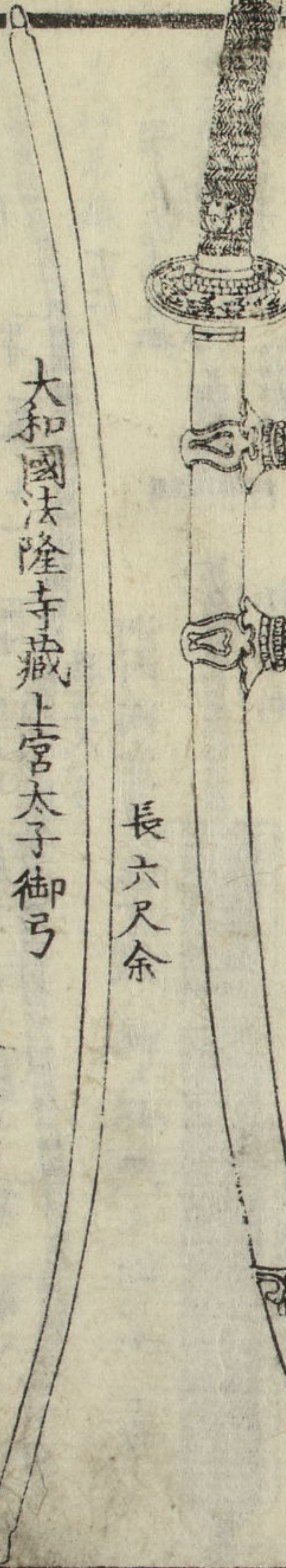


河内國壹井八幡宮藏源義家朝臣太刀同海老箱卷腰刀



源賴義朝臣太刀

長六尺余



大和國法隆寺藏上宮太子御弓

木造丹塗 重九千錢

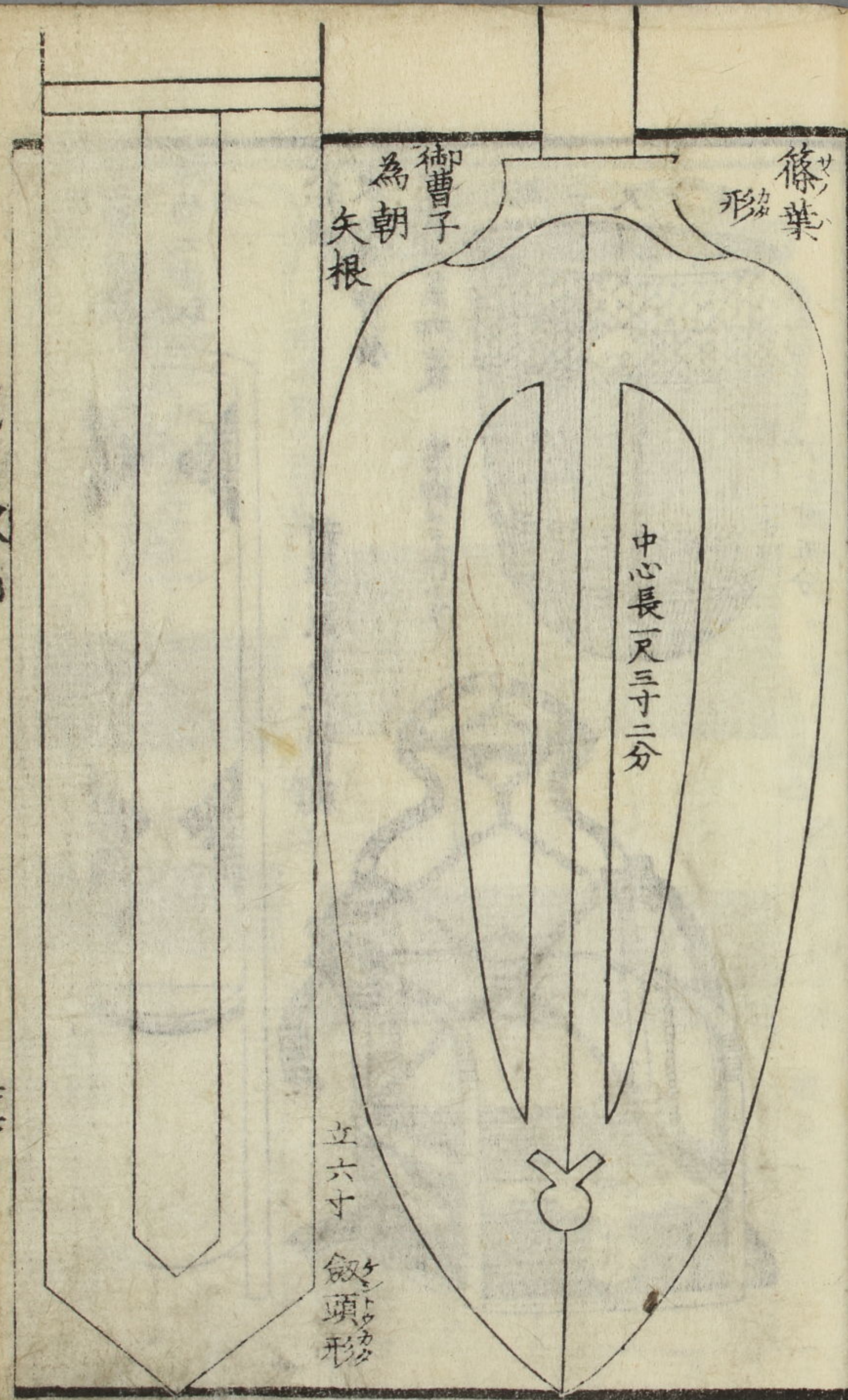
冊塗

四塗

山城國靜原二宮山王藏 天武天皇御弓

式部卿山

七六



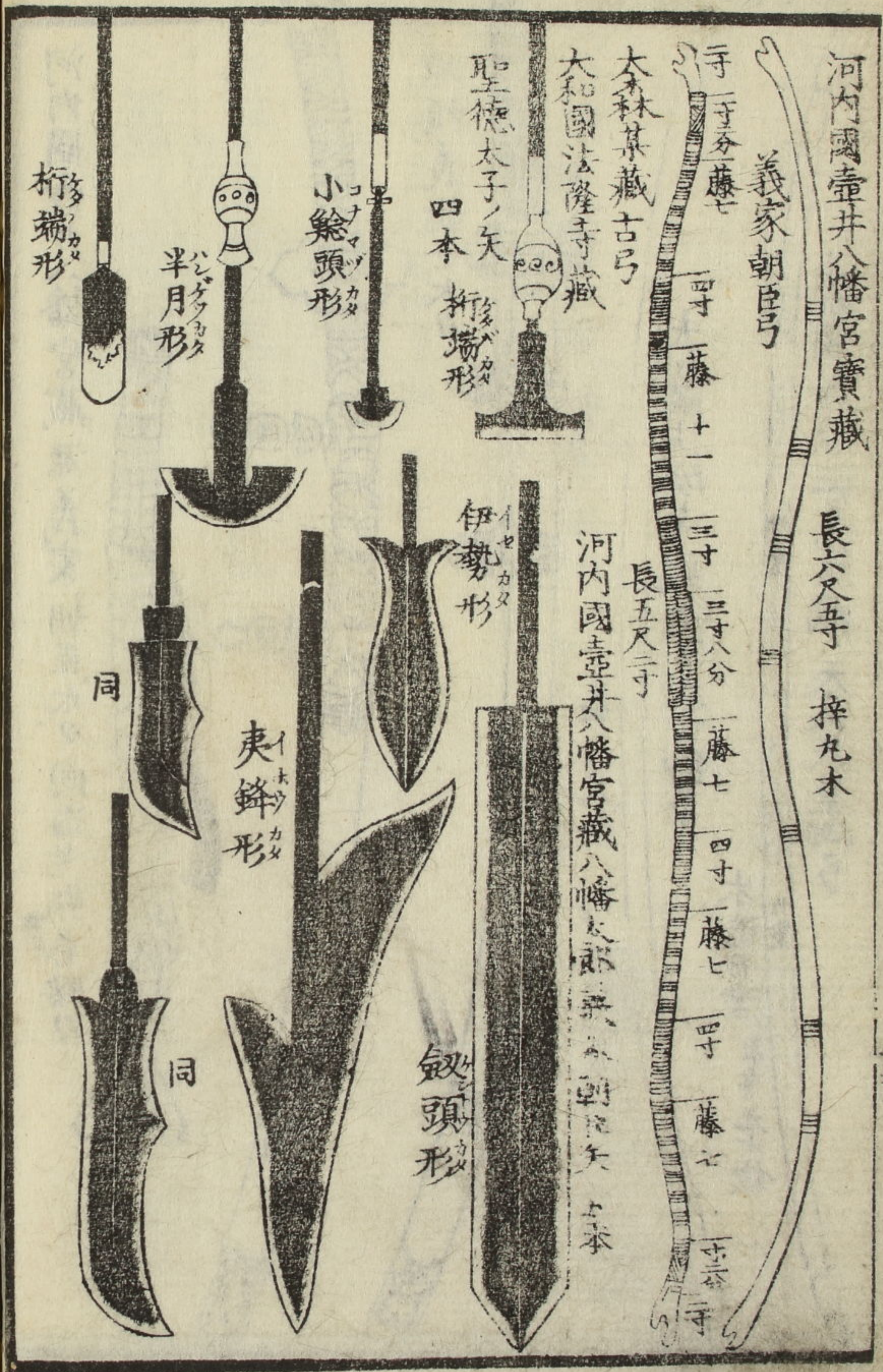
篠葉形

御曹子
為朝
矢根

中心長一尺三寸二分

立六寸
劍頭形

式部



河内國壺井八幡宮寶藏

長六尺五寸 梓丸木

義家朝臣弓

手一尺五寸藤七

手一尺藤十一

手一尺三分藤七

手一尺四寸藤七

手一尺藤七

手一尺

長五尺二寸

大森林某藏古弓
大和國法隆寺藏

河内國壺井八幡宮藏八幡太郎義經朝臣矢一本

聖德太子ノ矢

四本 折端形

伊勢形

劍頭形

小鯨頭形

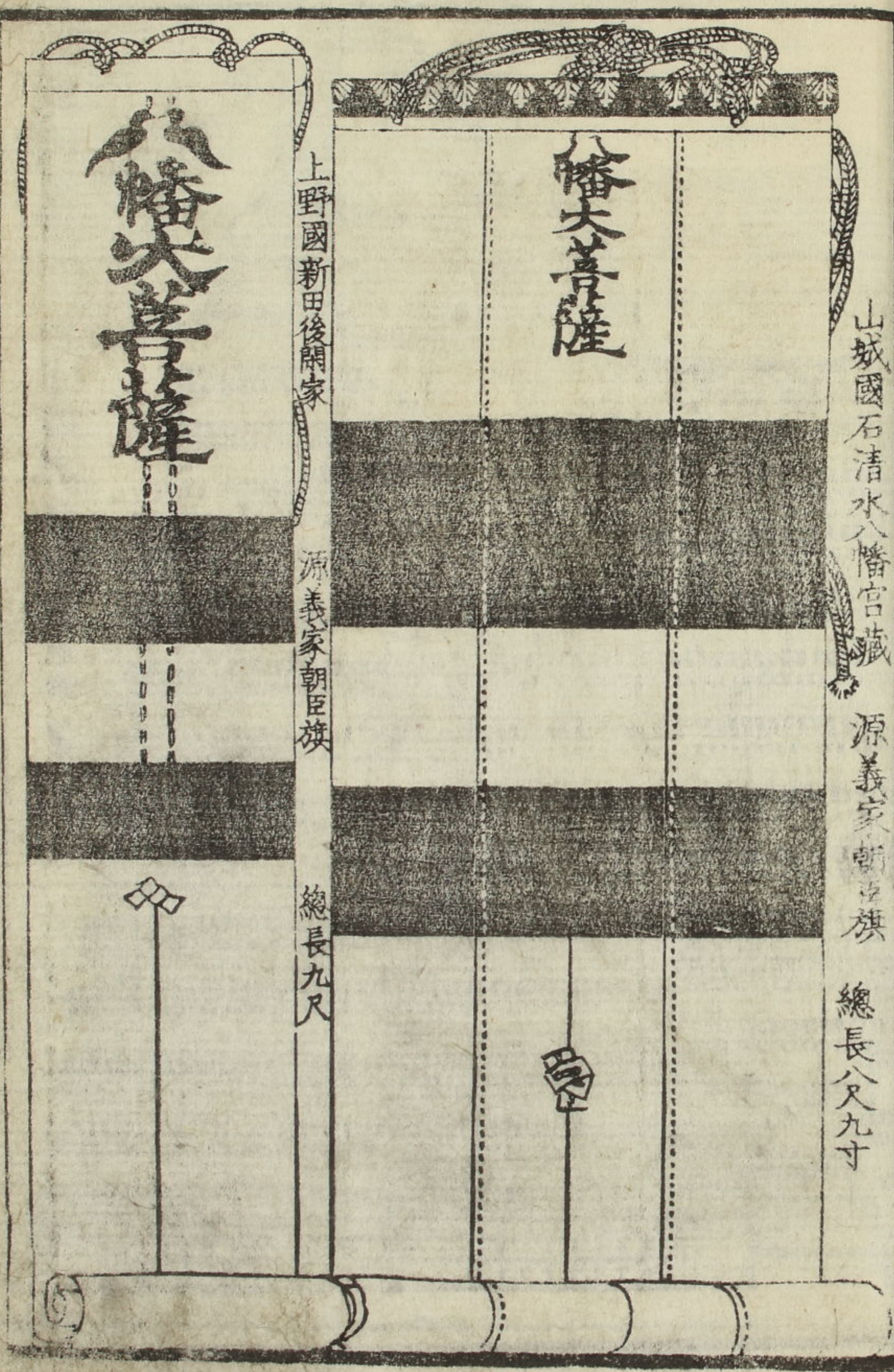
半月形

夷鋒形

折端形

同

同



上野國新田後關家

源義家朝臣旗

總長九尺

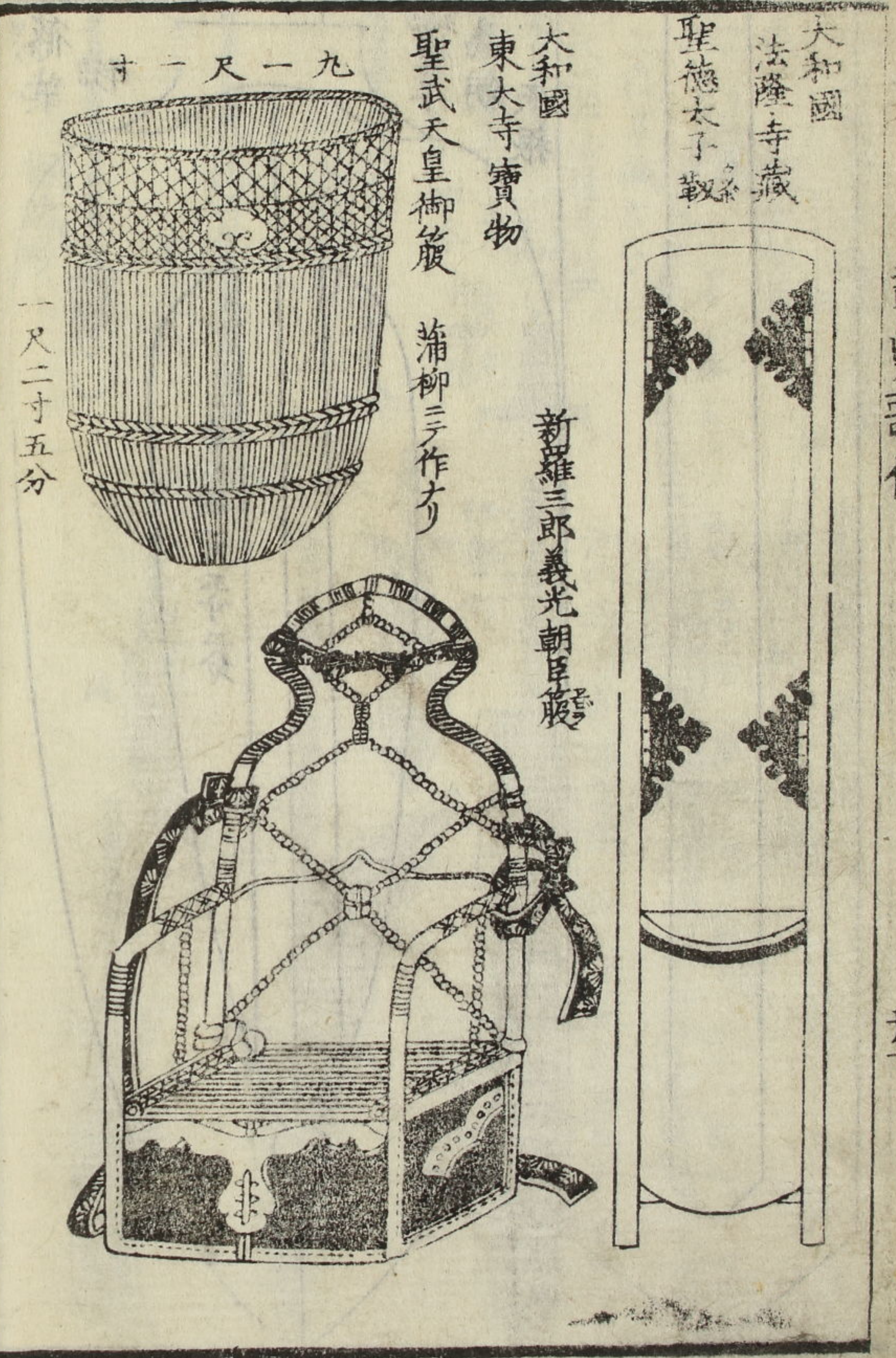
山城國石清水八幡宮藏

源義家朝臣旗

總長八尺九寸

武勇歌

九



九尺一寸

一尺二寸五分

大和國
東大寺寶物

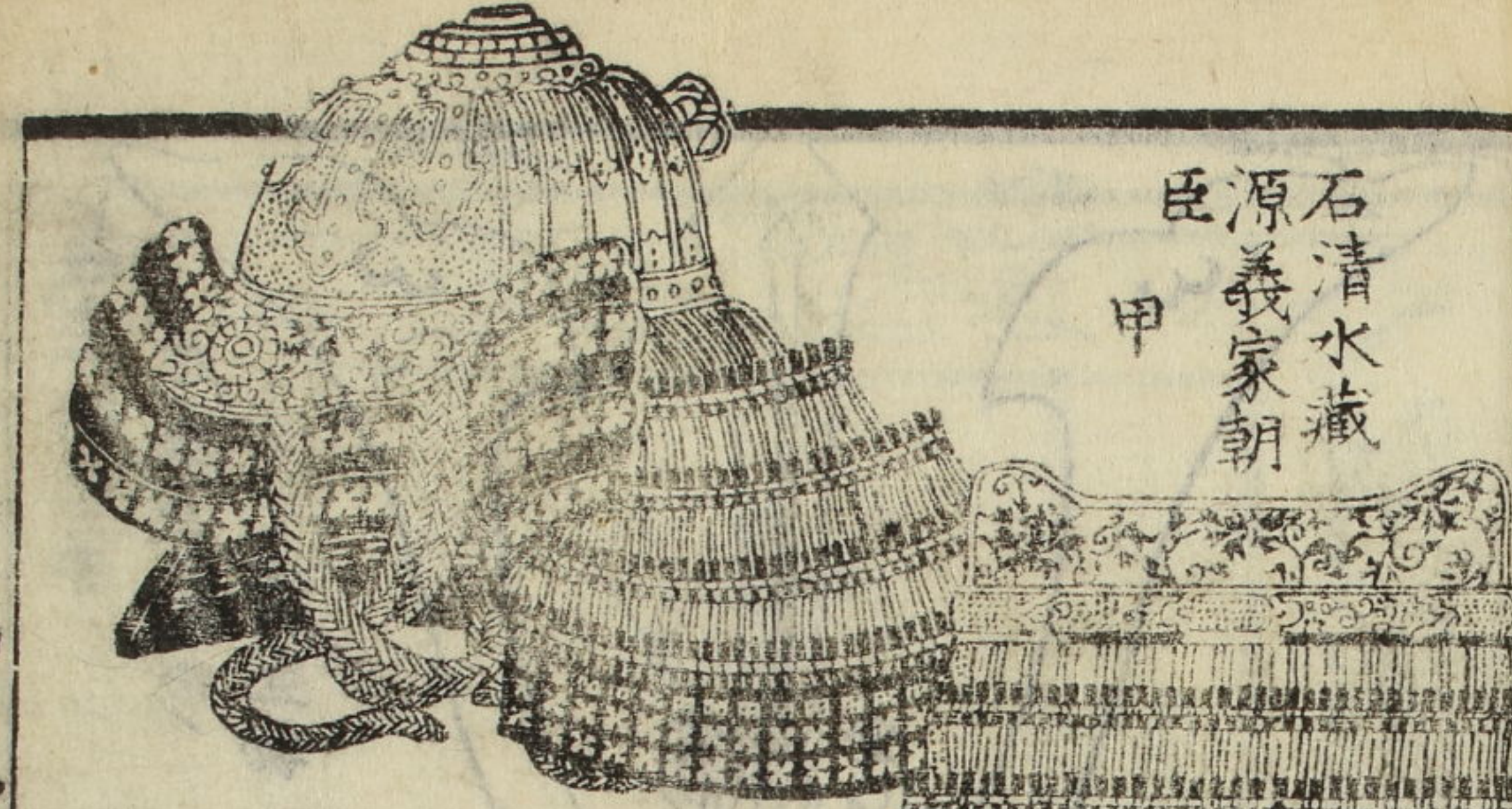
聖武天皇御履

新羅三郎義光朝臣履

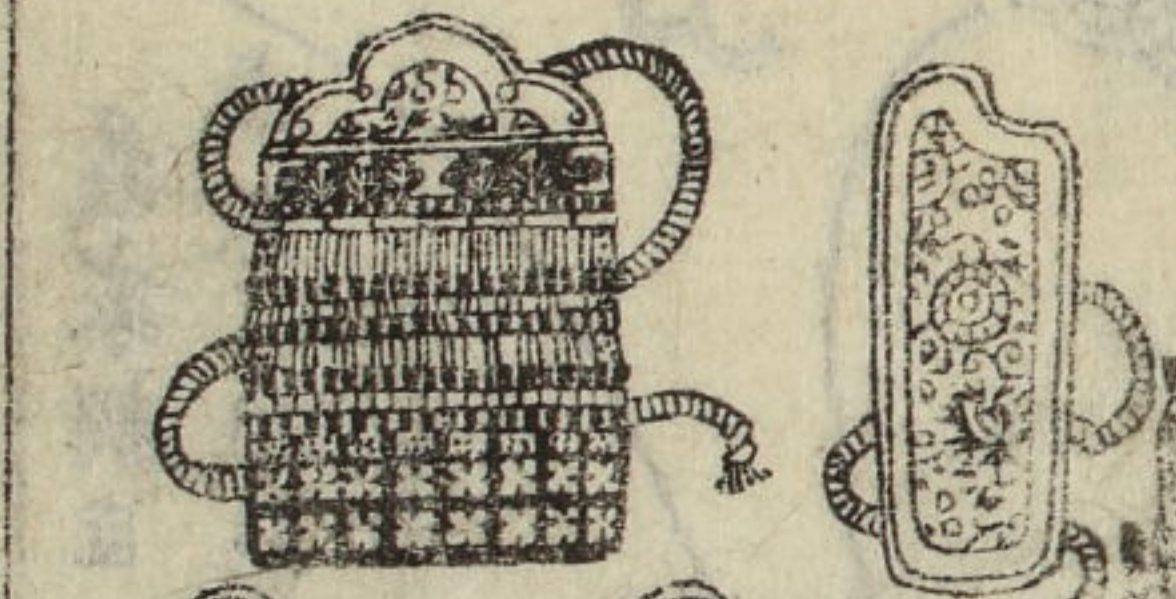
大和國
法隆寺藏
聖德太子靴

武勇歌

九

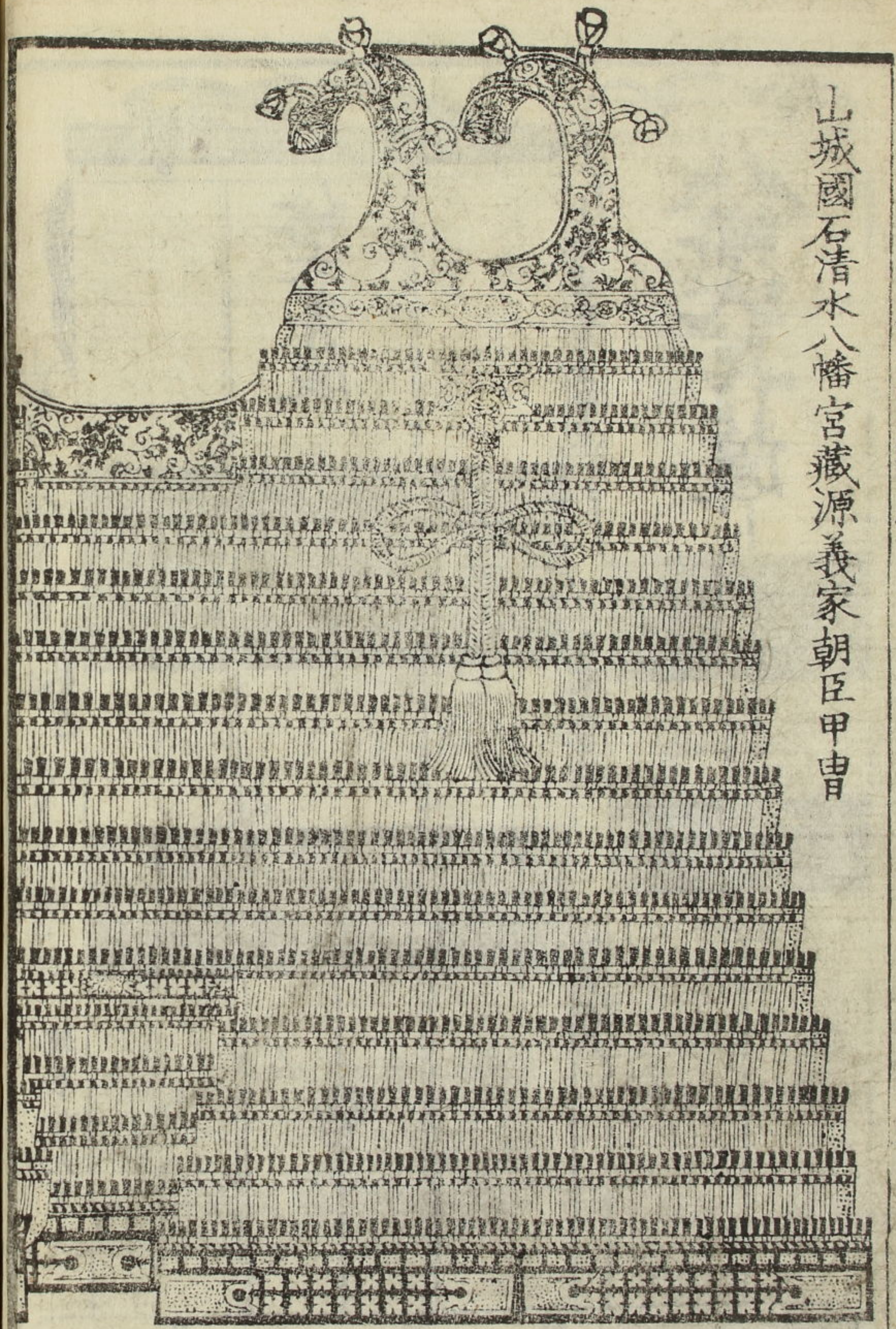


石清水藏
源義家朝
臣甲



出雲國
日崎社藏
義家朝臣
納所
喉輪

武官衣



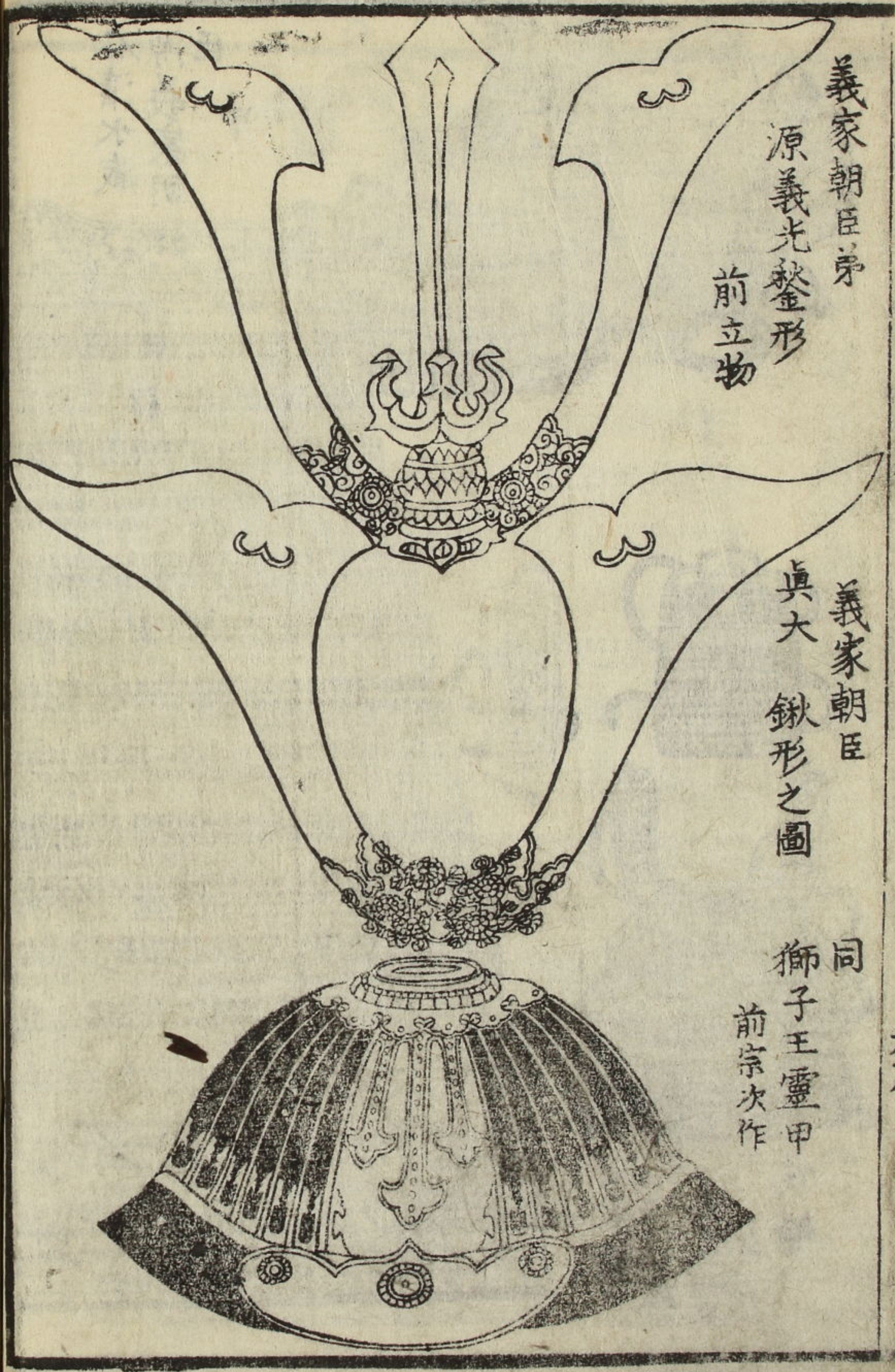
山城國石清水八幡宮藏源義家朝臣甲冑

武官衣

九

中昔六歌仙

武尊歌仙



義家朝臣弟
源義光整形
前立物

義家朝臣
真大 鍬形之圖

同
獅子王靈甲
前宗次作

正三司

九

源三立位頼政の傳記... 源三立位頼政の傳記... 源三立位頼政の傳記...

のふらぶらと夜りあまのさくら
おれもまへに
あかきつひに
せはりては
あかり

平家頼朝... 源三立位頼政... 源三立位頼政の傳記...



たのふ... 源三立位頼政... 源三立位頼政の傳記...

源三立位頼政... 源三立位頼政の傳記...

源三立位頼政... 源三立位頼政の傳記...

伊豆守仲綱



伊豆守仲綱の事
仲綱は伊豆守として
名を馳せし者なり
其の事蹟は
史に載りて
詳しき事多し
其の勇武
は人共
驚かす事
ありしなり
其の事蹟
は史に
載りて
詳しき
事多し
其の勇武
は人共
驚かす
事あり
しなり

伊豆守仲綱の事
仲綱は伊豆守として
名を馳せし者なり
其の事蹟は
史に載りて
詳しき事多し
其の勇武
は人共
驚かす事
ありしなり
其の事蹟
は史に
載りて
詳しき
事多し
其の勇武
は人共
驚かす
事あり
しなり



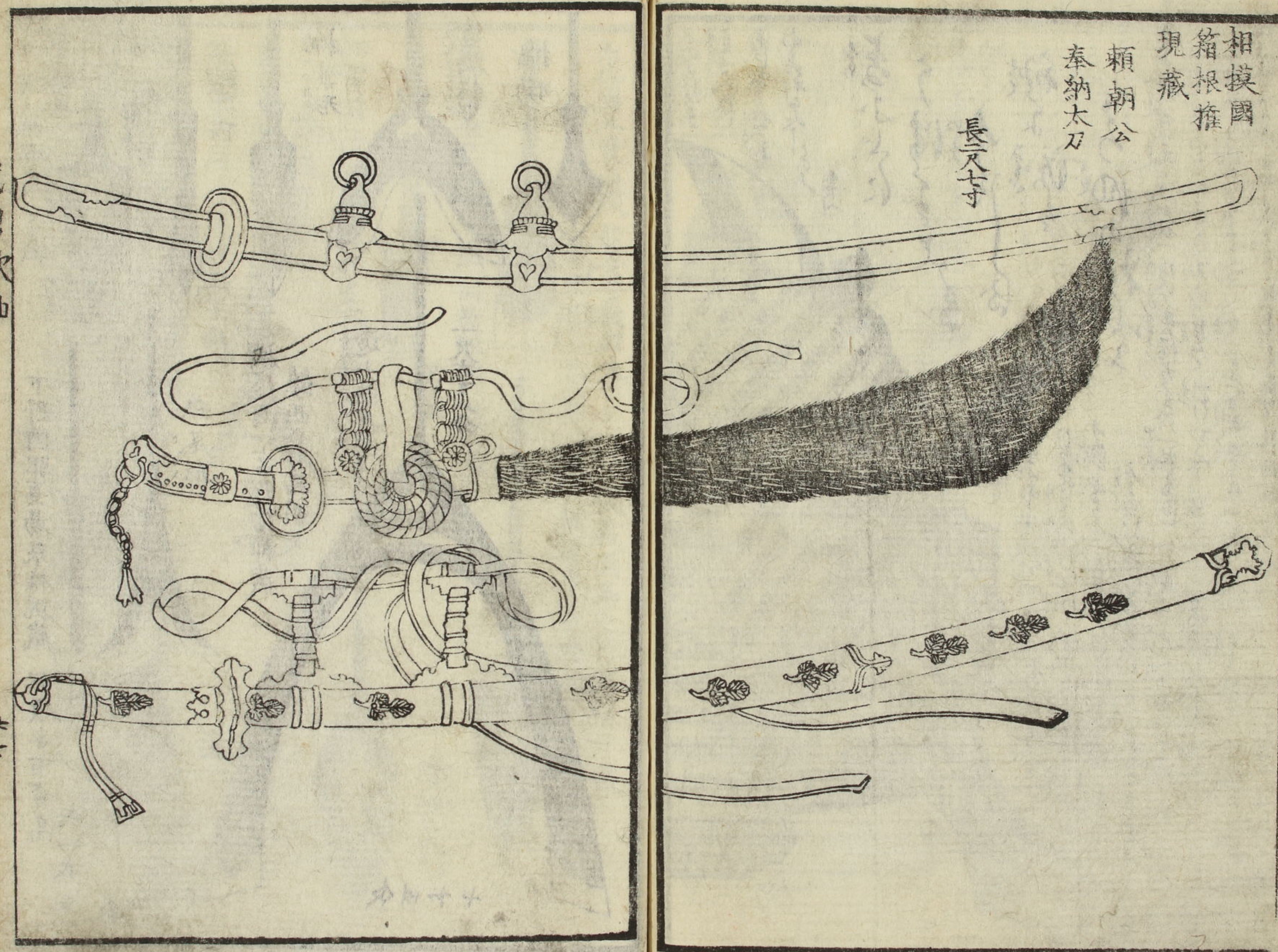
伊豆守仲綱の事
仲綱は伊豆守として
名を馳せし者なり
其の事蹟は
史に載りて
詳しき事多し
其の勇武
は人共
驚かす事
ありしなり
其の事蹟
は史に
載りて
詳しき
事多し
其の勇武
は人共
驚かす
事あり
しなり

伊豆守仲綱の事
仲綱は伊豆守として
名を馳せし者なり
其の事蹟は
史に載りて
詳しき事多し
其の勇武
は人共
驚かす事
ありしなり
其の事蹟
は史に
載りて
詳しき
事多し
其の勇武
は人共
驚かす
事あり
しなり

相摸國
箱根推
現藏

賴朝公
奉納太刀

長八寸



攝津國八部郡農家藏

義經朝臣

龍舌形



矢五本

燕尾形



直先形

下野國那須湯泉権現藏

那須寺市資高

矢二本

柳葉形



透大燕尾形

越後國一宮弥彦神藏

鎮西八郎為朝矢

一尺六寸八分



十寸用

透馬俣形



推形

土佐國五臺山藏能登寺教經矢

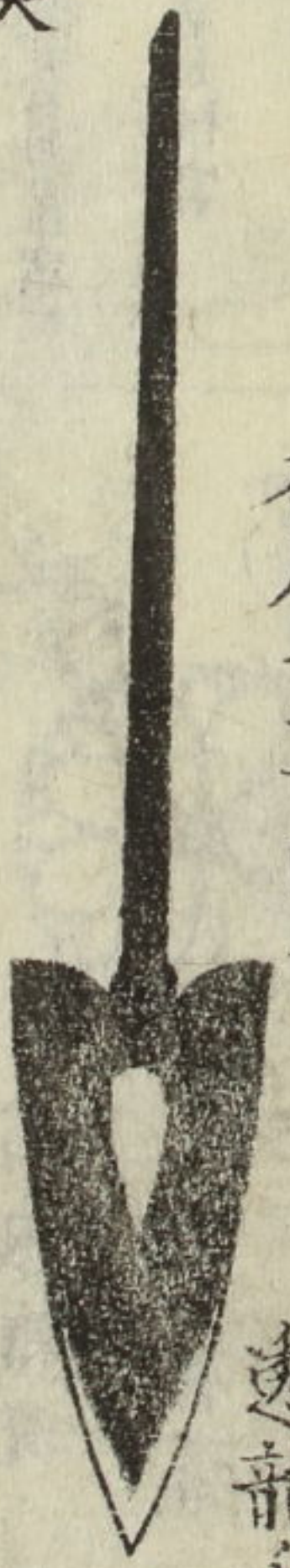
鑿頭形



武藏國馬込村萬福寺藏

梶原平三景時矢

透龍舌形



大和國金口長岡寺藏同教經矢

甲州成

透柳葉形

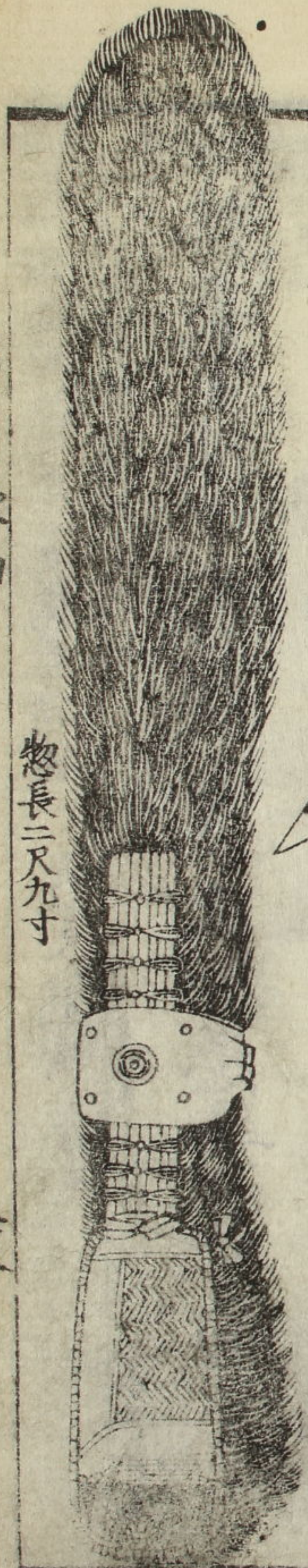
加賀國江沼郡須輪村多太社藏

齋藤實盛矢



燕尾形

鷲尾其藏源義經朝臣



惣長二尺九寸

紀伊國高野山藏惡七兵衛景清旗

長七尺八寸幅一尺四寸

怖畏軍陣中念彼觀音力眾怨悉退救妙觀世音

熊谷次郎直実旗 長八尺一寸五分 幅一尺一寸三分

幡大菩薩



同直実小旗

上威徳天月星宿

天照皇太神宮

八幡菩薩住吉觀方

同小旗

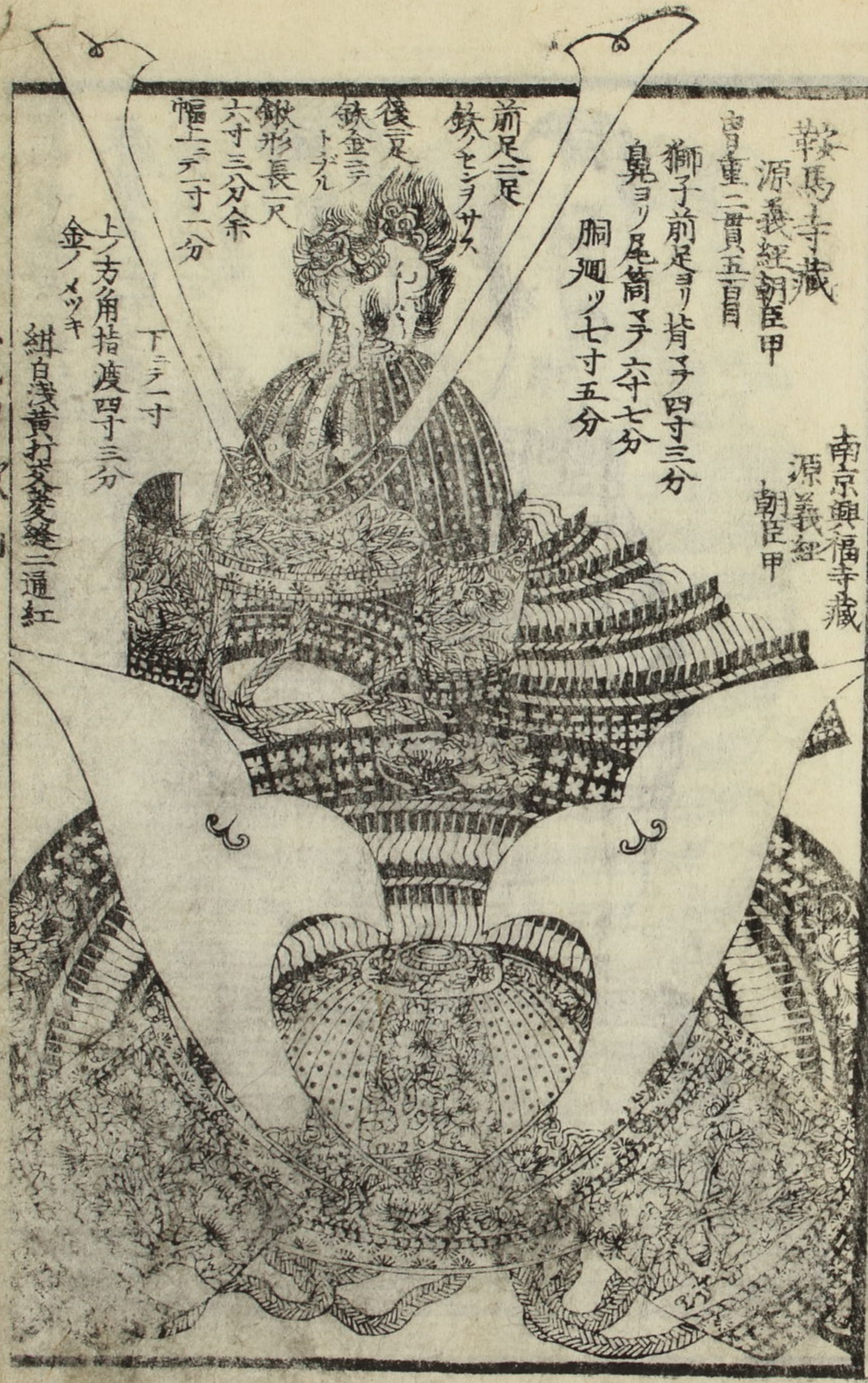
箱根推現

聖八幡大菩薩

毘沙門天王

法義四年八月十一日

景清



鞍馬寺藏

源義經朝臣甲

寶重二貫五百貫

南京興福寺藏

源義經朝臣甲

獅子前足ヨリ背子四寸三分

鼻ヨリ尾筒子寸七分

胴廻ッ七寸五分

前足三足

鉄メシラサス

後足

鉄金三

鉄形長一尺

六寸三分余

幅上テ一寸一分

下三寸

上方角指渡四寸三分

金メッキ

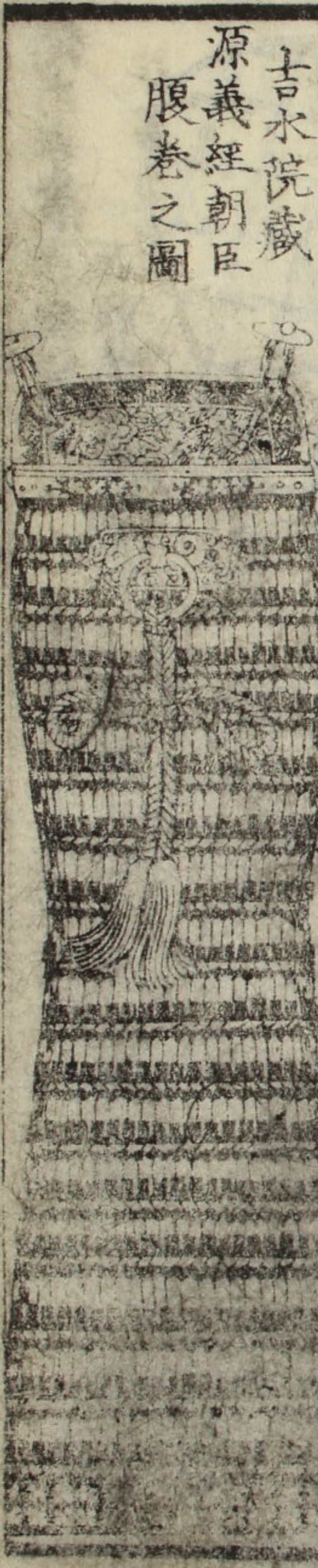
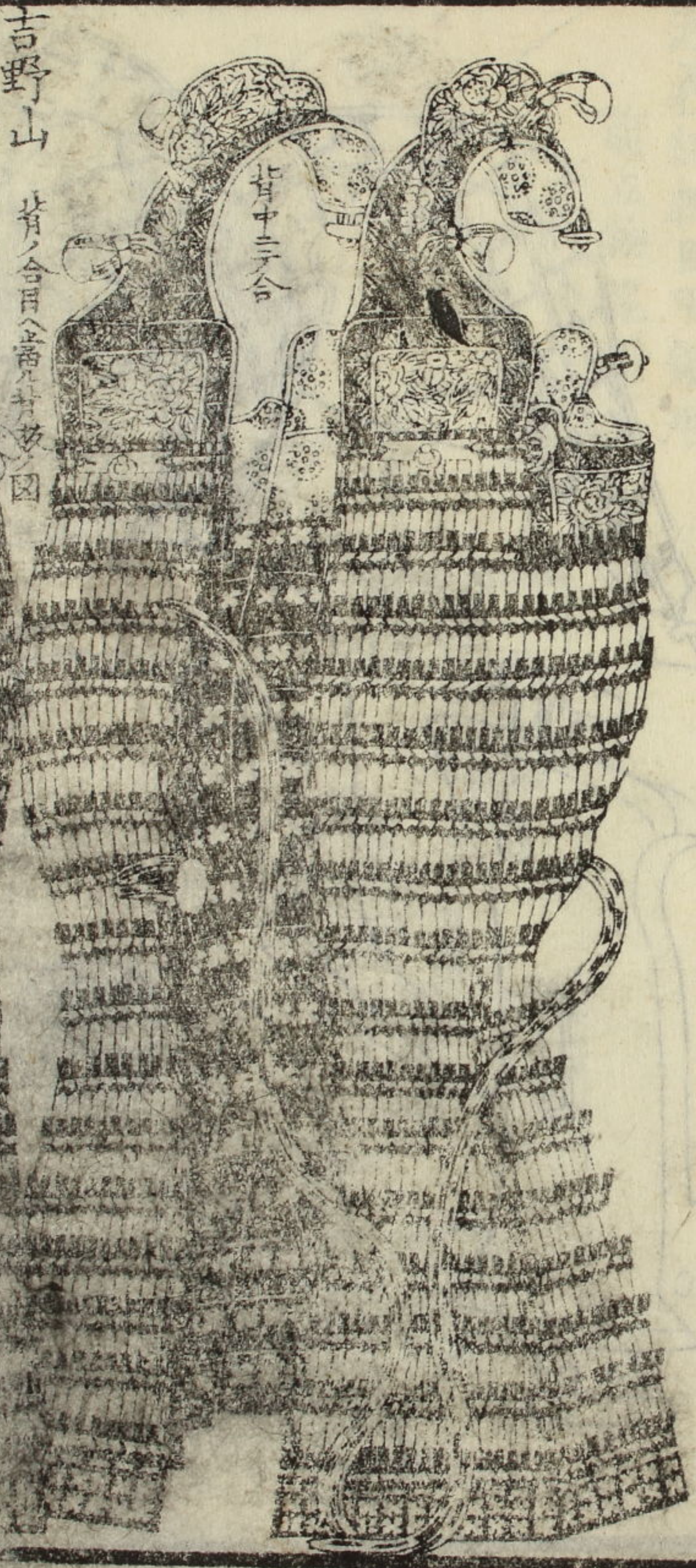
紺白淺黄打交菱縫三通紅

鞍馬寺藏源義經朝臣胴丸之圖

縁萌黄白紅交綿上裏桐子革三色



吉野山
吉水院藏
源義經朝臣
腹巻之圖



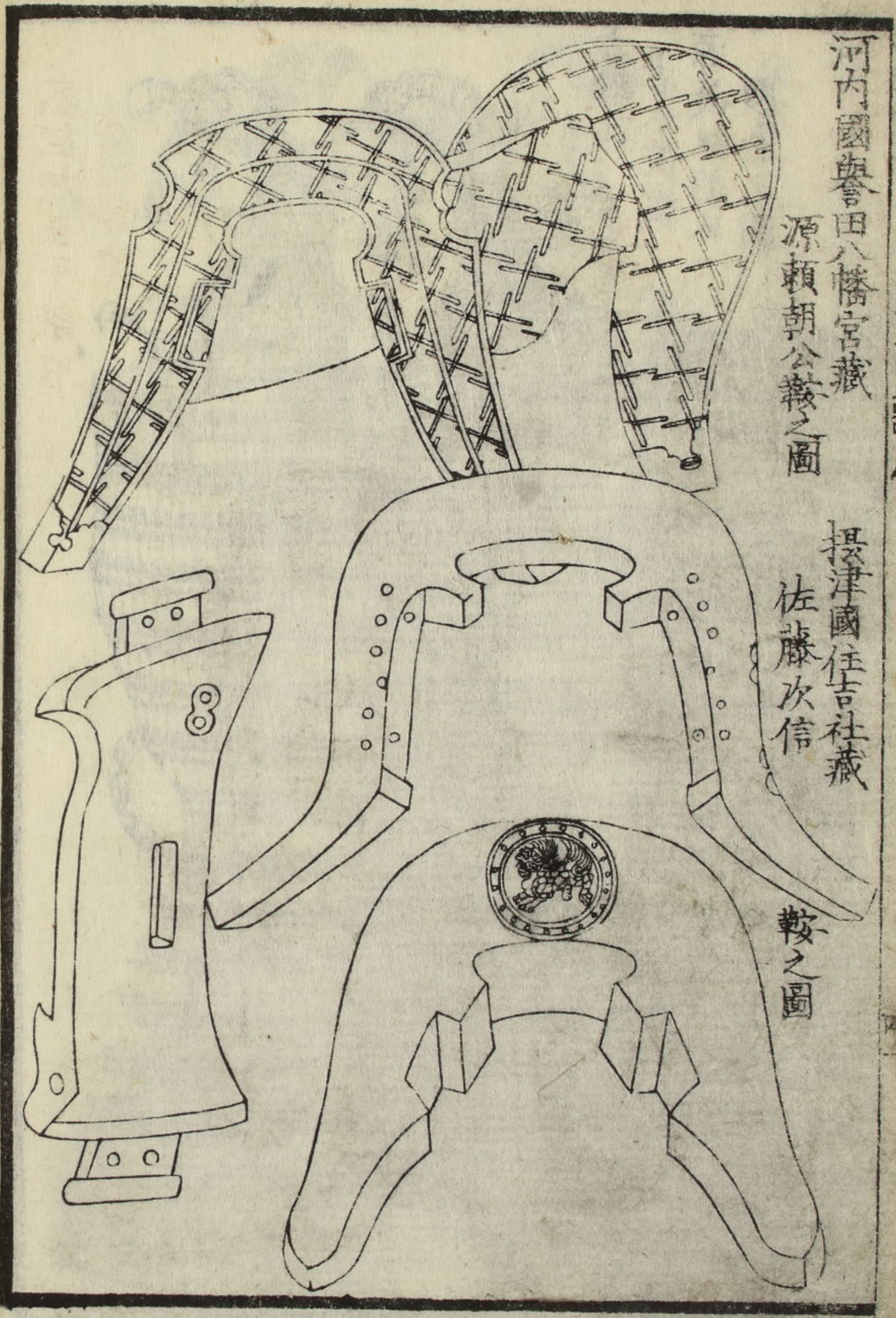
河內國譽田八幡宮藏

源賴朝公鞍之圖

攝津國住吉社藏

佐藤次信

鞍之圖

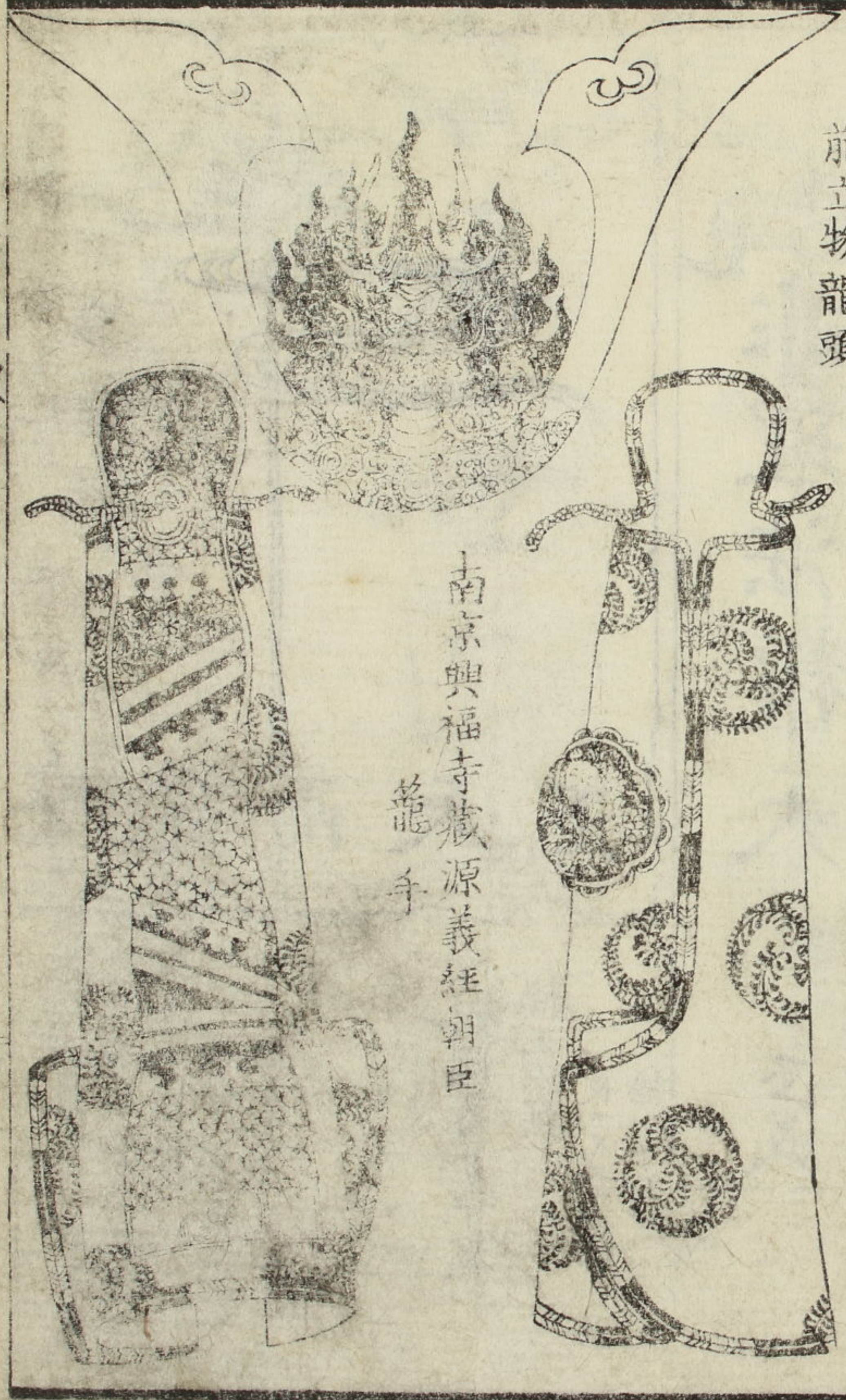


源義經朝臣甲鍬形

前立物龍頭

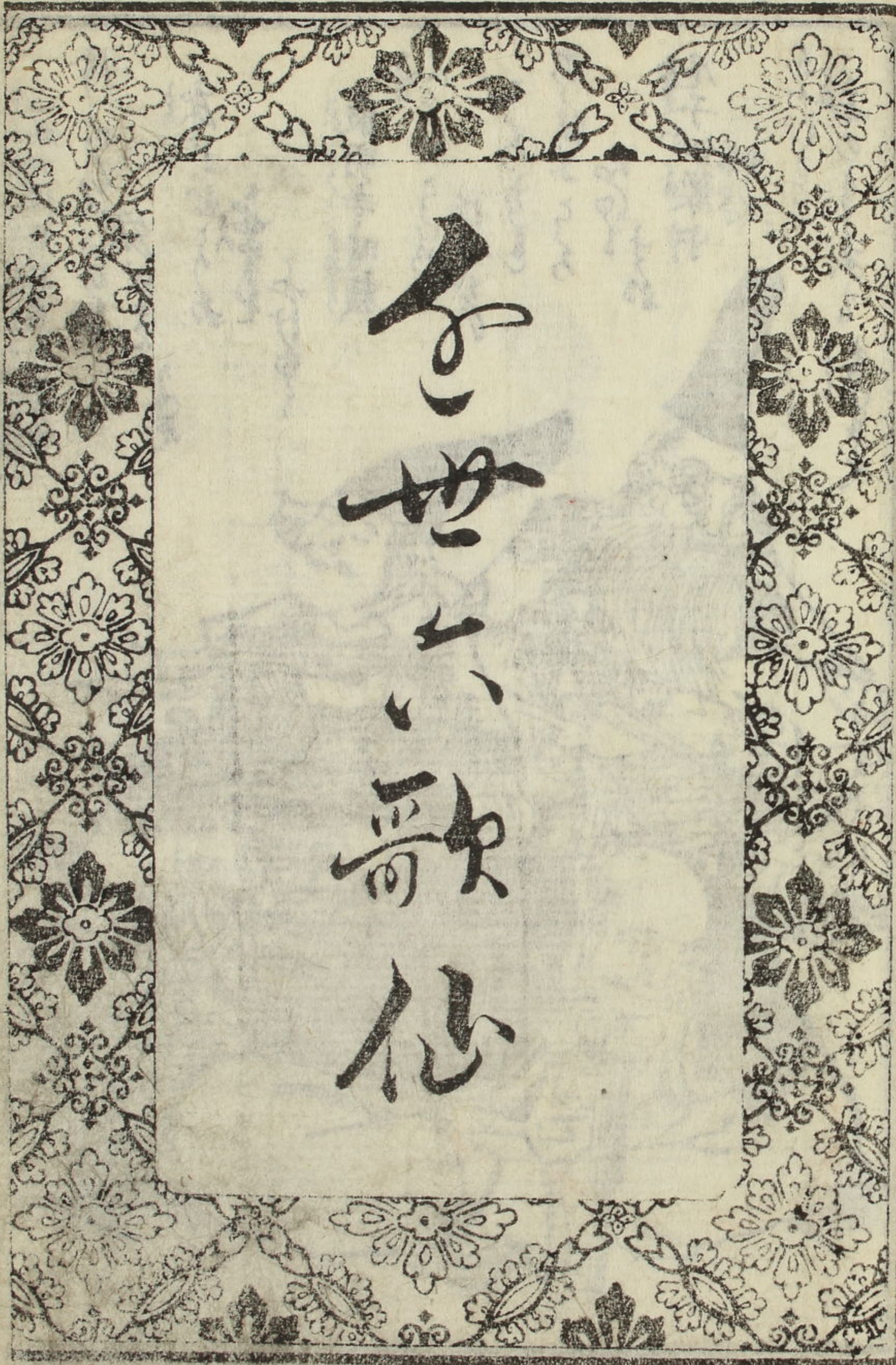
南京興福寺藏源義經朝臣

龍手



武庫歌仙

于世六歌仙



正理歌仙

非理法權天

正成

摩毘兩天王

河內國葛井寺藏
楠正成旗
長三尺二寸七分
幅七寸五分
投津國住吉郡五彦山
大聖寺中坊不動院藏
楠正成指物
長二尺七寸五分
幅二尺八寸三分五厘

四十一

山名左衛門督持豊入道宗全

ほろろいれいれい

あまのまはら

床にむすうか

あまのまはら

あまのまはら

最明寺時頼

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

尼子伊豫守

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら



あまのまはら

あまのまはら

楠帯刀正行

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

楠 正成

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら

萬里小路藤房卿

あまのまはら

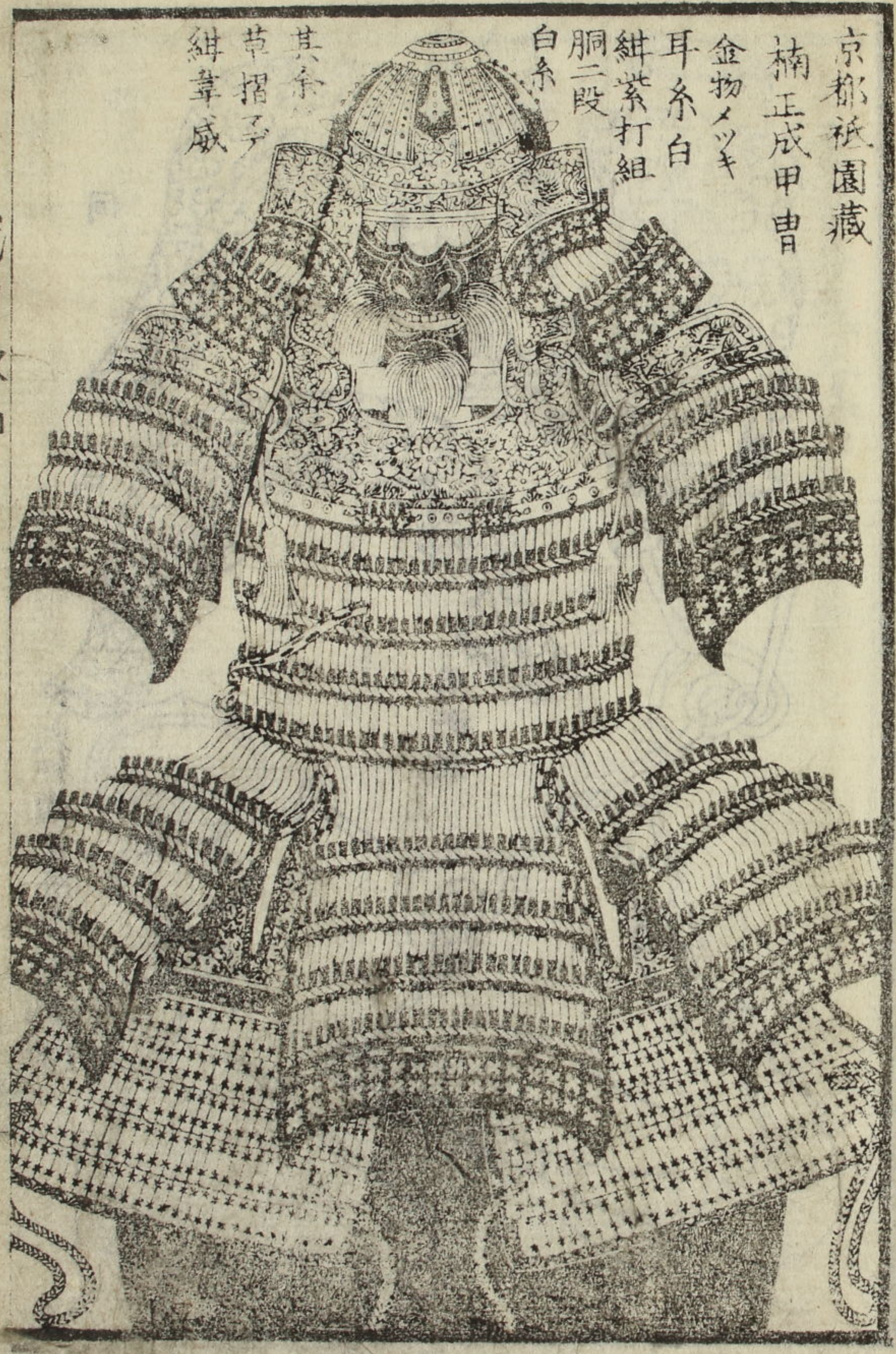
あまのまはら

あまのまはら

あまのまはら



あまのまはら



京都祇園藏

楠正成甲冑

金物メッキ

耳糸白

紺紫打組

胴二段

白糸

其糸

草摺子

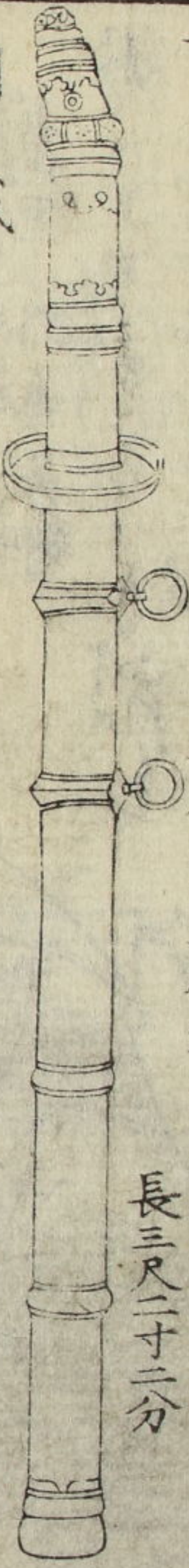
紺草威

武勇故山

長門國赤間關阿弥寺藏

安徳天皇御劔之圖

長三尺二寸二分



同藏

能登守教經刀之圖

長二尺六寸三分

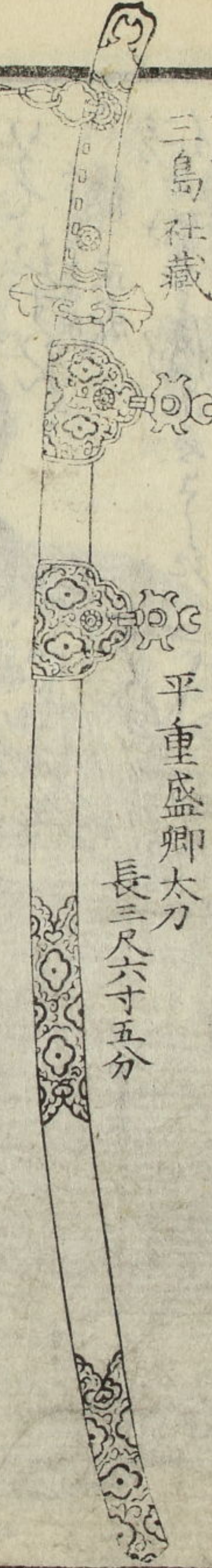


伊豫國

三島社藏

平重盛卿太刀

長三尺六寸五分



河内國天野山金剛寺藏

楠正成短刀

長一尺一寸五分



河内國農家藏

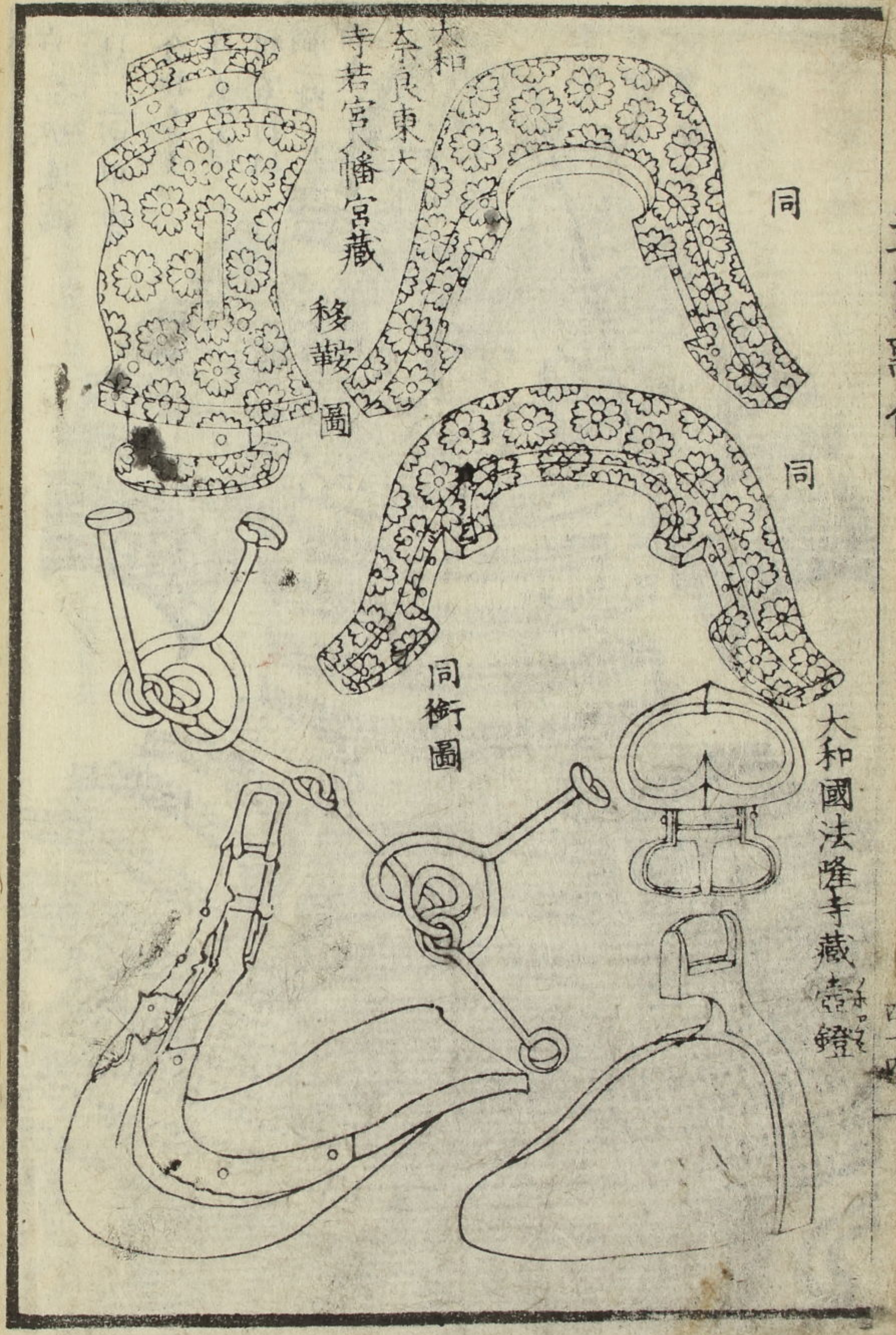
正成弓

長四尺五寸



古昔合戰年月大畧次第

朔日	太宰少貳廣嗣誅 天平十二年 十月	源平水島合戰 壽永二年 十月	笠置落城 元弘元年 九月	武田國信退治 文明三年 四月	細川澄元自殺 永正四年 八月	柳本彈正内山寺燒 享祿二年 五月	細川晴元大物城攻 天文十八年 三月	三好宗三東富城攻 天文十八年 五月	賤嶽合戰 天正十一年 七月
二日	比企谷合戰 建仁三年 九月	畠山重忠合戰 元久二年 四月	和田義盛合戰 建保元年 五月	常刃關小田高城合戰 康永三年 四月	小栗滿重討死 應永三年 八月	防刃山口合戰 天文二十年 九月	地藏峠合戰 天文二十一年 三月	遠刃二股合戰 天正三年 六月	京都本能寺合戰 天正十年 六月
三日	藤原泰衡亡 文治五年 九月	和田義成討死 建保元年 五月	赤坂金剛山合戰 元弘三年 二月	六波羅合戰 元弘三年 四月	佐竹上総公自殺 應永七年 十月	畠山山守赤次合戰 文應元年 十月	若槻長澄自殺 永正七年 二月	山崎合戰 天正七年 二月	穴山梅雪賊亡 天正十年 六月



四日

大和高取合戰

永享九年三月

古河城合戰

天文三年十月

五日

安部大夫頼時

天喜五年九月

三浦泰村一族自盡

宝治元年六月

手越合戰 且利直義敗北

建武二年十二月

四條畷合戰

貞和五年正月

楠正行討死

貞和五年正月

武易世谷原合戰

六日

佐々木盛綱藤谷合戰

元禄元年十二月

株瀬洲股川合戰

承久三年六月

六波羅合戰

元弘三年五月

越前金崎合戰

延元二年三月

上杉由比濱合戰

應永三年十二月

蒲原合戰

永禄五年十月

七日

相馬將頼討死

天慶三年七月

一谷合戰

元暦元年二月

上総七兵衛死

建久七年三月

上総公秀胤自殺

宝治元年六月

梅津桂合戰

應永二年九月

山名氏滿八田合戰

應永六年十二月

一条政房於兵庫遇害

文明元年十月

八日

頼光鬼童丸討

正暦五年四月

馬場辻堂自殺

元弘三年五月

小夜中山合戰

建武二年八月

河内古市河原合戰

延元三年三月

細川高國自殺

享祿四年六月

國府基合戰

永祿六年四月

三増峠合戰

永祿十二年十月

九日

信頼放火三條御所

平治元年十二月

山門衆徒清水寺合戰

永万元年七月

千早寄手十五人誅

元弘三年七月

鎌倉聖福寺合戰

建武元年三月

赤松義村鷹尾城攻

永正八年八月

越中若船野合戰

天文十四年四月

三好範長原田城攻

天文十六年二月

長久手合戰

天正八年四月

十日

伊豫掾純友合戰 天慶四年六月

瀬川合戰 元弘三年三月

千早城合戰 元弘三年五月

箱根合戰 永享十年九月

赤松滿祐自殺 嘉吉元年正月

山門臨幸勅使河原父子討死 應永四年正月

上杉北条神奈川合戰 天文二十年三月

足利滿隆上杉禪秀自殺 應永四年正月

川中島合戰 永祿四年九月

松永久秀自殺 天正五年十月

十一日

新院御所合戰 保元元年七月

三井寺合戰 治承四年十二月

磯並栗加羅合戰 壽永三年五月

赤松摩耶山合戰 元弘三年二月

小手指原合戰 元弘三年三月

瀬川合戰 元弘三年三月

三浦導寸討死 永正十五年七月

野田合戰 天正元年正月

武田勝頼討死 天正十年三月

箕作城合戰 永祿十年九月

十二日

十郎藏人行家討死 文治三年五月

京合戰赤松敗走 元弘三年三月

久米川合戰 元弘三年五月

箱根竹下合戰 建武二年十二月

法性院信玄 天正元年四月

十三日

常陸大掾國香討死 承平七年十月

瀬田橋合戰 承久三年六月

尊氏九郎落 延元元年二月

金崎合戰 延元元年十月

利根川合戰 延元元年十二月

山名義理王九合戰 明德三年二月

相刃岡崎合戰 永正九年八月

上杉北條高輪合戰 文永四年正月

川勝寺合戰 大永十年

山崎合戰 天正十年六月

十四日

入鹿大臣殺 皇極三年六月

平新皇將門討死 天慶三年六月

武衛家衡伏誅 承久五年十一月

武刃関戸合戰 元弘三年五月

雲津阿條川合戰 延元三年二月

堅田合戰 明德二年十月

三好長慶相國寺燒 天文元年七月

佐々成政自殺 天正十六年五月

十五日

伊賀判官討死 承久三年五月

赤松北條山寄合戰 元弘三年三月

新田北條武藏野合戰 元弘三年五月

里見北條龜岡合戰 永永六年十二月

上杉北條川越合戰 天文六年七月

三刃大明寺合戰 大永七年四月

管領畠山高政討死 天正四年十月

十六日

先生義賢討死 久壽二年八月

義貞分倍河原合戰 元弘三年五月

三井寺合戰 延元三年正月

結城合戰 嘉吉元年五月

且利春王安王自殺 嘉吉元年九月

十七日

安倍貞任討死 康平五年九月

山木夜討 治承四年八月

波多野義常自殺 治承四年十月

堀川夜討 文治元年十月

城入道鎌倉合戰 弘安八年十一月

芳賀伊賀守若林 貞治三年六月

別所長治自殺 天正八年正月

十八日

大塔宮野合戰 元弘三年二月

相模川合戰 建武二年八月

八幡山合戰 永和四年十二月

赤松滿祐合戰 永享四年十二月

下総市川城合戰 康正三年正月

三好長慶東山合戰 天文十九年十一月

今川義元討死 永祿三年十一月

武田義信死 永祿十年十月

森三左衛門討死 元龜元年九月

十九日

梶原景時死 正治二年正月

木曾義仲討死 元暦元年正月

笠置落城 元弘元年九月

比叡山合戰 延元元年六月

大内義興死 享祿元年八月

三好海雲自殺 享祿五年六月

武刃松山合戰 天文十五年四月

朝倉義景自殺 天正元年八月

房易里見義弘死 天正六年五月

廿日

依藤太蝦公退治 延喜十八年十月

平家讚岐道場入 文治元年二月

平宗盛子息亡 文治元年六月

楠正成天王寺合戰 正慶元年五月

堺合戰大内義弘亡 應永六年五月

上杉氏憲伊達合戰 應永九年五月

小栗城合戰 應永九年十二月

花沢落城 元龜元年正月

高天神合戰 天正九年五月

廿一日

廿二日

佐藤忠信死

文治二年九月

鎌倉合戰

元弘三年五月

阿部野合戰

延元三年五月

大内義弘死

應永六年十二月

味方原合戰

元龜三年十二月

根來寺燒討

天正十三年三月

廿三日

石橋山合戰

治承四年八月

三位中將重衡

文治元年六月

三浦荒治郎死

正治二年正月

相刃茂井城合戰

明應二年九月

廿四日

平家滅亡

元曆二年三月

河内赤坂落城

元弘三年二月

山名氏清南山合戰

永德二年正月

楠土丸城落城

永德二年正月

細川清氏討死

貞治元年七月

舟岡山合戰

永正八年八月

三好宗三討死

天文八年八月

柴田勝家討死

天正十一年

加藤清正死

慶長十一年六月

廿五日

鎌倉源太義平死

永曆元年正月

興福寺僧燒多武峯

承安三年六月

九乃探題北條英時討死

弘長三年五月

湊川合戰

延元元年五月

楠贈中將正成朝臣討死

同

廿六日

將軍太郎良門

永延三年三月

大江山酒類童子

正曆元年三月

安倍頼時討死

天喜五年七月

源三位頼政討死

治承四年五月

大場三郎景親

治承四年十月

土佐坊昌俊

文治元年正月

武刃安原合戰

延元二年十二月

鎌倉小坪合戰

延元二年十二月

小山若大九古河合戰

至德三年六月

河刃落合戰

明德元年三月

廿七日

待賢門合戰

平治元年十二月

三浦大助義明討死

治承四年八月

衣笠合戰

治承四年八月

火打城合戰

壽永二年四月

右大臣實朝公

承久元年正月

久我暲合戰

元弘三年四月

失知合戰

建武二年七月

京合戰

延元元年正月

高武藏守師直

觀應二年二月

早川尻合戰

永享十年九月

廿八日	南都大佛焼亡 治承四年十二月	曾我十郎祐成 建久四年五月	主馬八郎盛久 文治三年六月	坂本合戦海東父子討死 元弘元年八月	奈良合戦 延元三年二月	勢刃田丸合戦 康永元年八月	娘川合戦 元龜元年六月	浅井下野守長政討死 元龜元年六月
廿九日	伊賀壽太郎戦亡 天慶四年五月	六條判官為義死 保元元年七月	曾我五郎時宗死 建久四年五月	安倍貞任討死 康平五年十月	結城合戦 永享十二年七月	浅井長政討死 天正元年八月	箱根山中合戦 天正十八年三月	下野佐野合戦 天正十八年四月
卅日	伊豫守義經亡 文治五年四月	京合戦 延元元年六月	内野合戦山名氏清 明徳三年十二月					

跋

余が友とて、遠く南の國に、
 今もまた、その名を、
 知る者、少く、
 故に、
 此の、
 事、
 を、
 記す。

